

小山市渡良瀬遊水地観光地化推進5カ年計画

～エコ・アグリツーリズムの推進～

平成30年3月

栃木県小山市

はじめに

平成24年7月3日に国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地は、面積約3,300haの国内最大の遊水地として、洪水から首都圏の生命・財産を守る治水の要であるとともに、本州以南最大の湿地・ヨシ原に絶滅危惧種を含む多くの貴重な動植物が生息・生育する「自然の宝庫」であり小山の宝です。また、その周辺地域は、水塚、揚舟、桑摘み歌、ヨシ産業など、歴史的・伝統的な文化遺産が今も継承されている地域です。

小山市では平成26年3月に策定した「渡良瀬遊水地関連振興5箇年計画」に基づき、賢明な活用の3本柱として、第1に「治水機能確保を最優先としたエコミュージアム化」、第2に「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」、第3に「コウノトリ・トキの野生復帰」を推進し、地方創生の目玉として観光地化を進めています。

湿地保全活動として、平成26年から年5回行っている「ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦」には市内外から毎回6～7百人の個人や企業・団体に参加・協力いただいている他、平成29年に初めて実施した外来魚駆除活動「おさかなワイワイ大作戦」は、東京圏からの親子連れを含む約2百人の参加の下盛大に開催することができました。

また、渡良瀬遊水地の周辺地域では、「環境にやさしい農業」として、多様な生きものを育む田んぼの環境整備を推進しており、「ふゆみずたんぼオーナー制」や「田んぼアート」、ホンモロコやナマズの養殖による「食」の充実など、既に東京圏からの誘客を促進する事業を展開しているところです。

さらには、これらの取組に呼応するように、渡良瀬遊水地とその周辺にコウノトリが5年連続で飛来し、平成30年は、国土交通省の許可を頂き遊水地内に設置した人工巣塔でコウノトリが巣作りを行うとともに連続1カ月以上滞在し、渡良瀬遊水地を望む堤防上に多くの写真愛好家が集まり賑わいを見せました。

今後も、渡良瀬遊水地の貴重な湿地を保全するための活動を継続しながら、同時に現在実施しております渡良瀬遊水地関連事業を発展させ、渡良瀬遊水地を重要な観光資源と位置付け、渡良瀬遊水地の雄大な自然と他の観光資源を結びつける「エコ・アグリリズム」を実践することで地域活性化を図ってまいります。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見やご提案をいただきました「渡良瀬遊水地観光地化推進計画ワーキンググループ」の皆様、生井地区地元関係団体及び自治会関係者の皆様、市議会議員の皆様をはじめとする各界各層の方々に心から感謝申し上げますとともに、本計画の推進にあたり、今後ともご指導とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

小山市長 大久保 寿夫

目次

第1章 計画の策定にあたって	1
1-1 計画策定の目的	1
1-2 計画の位置付け	2
1-3 計画期間	4
1-4 計画策定の進め方	4
第2章 計画の推進に向けた基本的考え方	5
2-1 計画の理念	5
2-2 現況と課題	7
2-3 計画推進に向けた視点	9
2-4 ターゲットの設定	10
2-5 計画体系	12
第3章 計画の推進方策	14
① 来る	14
② 見る・体験する（学ぶ・つくる）	22
③ 食べる・泊まる	30
④ 買う	33
⑤ 交流する・PR	36
■ 指標・KPI	41
第4章 計画の実現化方策	43
4-1 受入環境整備	43
4-2 呼び込む環境整備	47
4-3 ターゲット別アクション例	53
4-4 季節別観光商品化例	54
4-5 計画の推進体制	56
4-6 周辺地域・広域連携	57
4-7 計画の見直し	58
資料編	59
資-1 主要事業一覧	59
資-2 上位計画・関連計画	72
資-3 ワークショップ結果	76
資-4 アンケート調査結果	86

第1章 計画の策定にあたって

1-1 計画策定の目的

小山市の宝、優れた地域資源である渡良瀬遊水地は、平成24年7月3日に世界のラムサール条約湿地に登録され、平成26年3月に「渡良瀬遊水地関連振興5箇年計画」を策定し、「地方創生の目玉」として「賢明な活用の3本柱」を推進しています。

一方、その計画策定から4年が経過し、栃木デスティネーションキャンペーンの展開や、東京オリンピック・パラリンピック、第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）等の開催を見据え、渡良瀬遊水地周辺地域を取り巻く環境は変化しつつあります。

このような中、ラムサール条約湿地の観点から、コウノトリ等の水鳥の生息地や、地域住民の生活を支える貴重な生態系として、幅広く湿地の保全・再生を行うとともに、それらの恵みを活用した交流・学習等に取り組み、地域を豊かにしていくことが重要となっています。

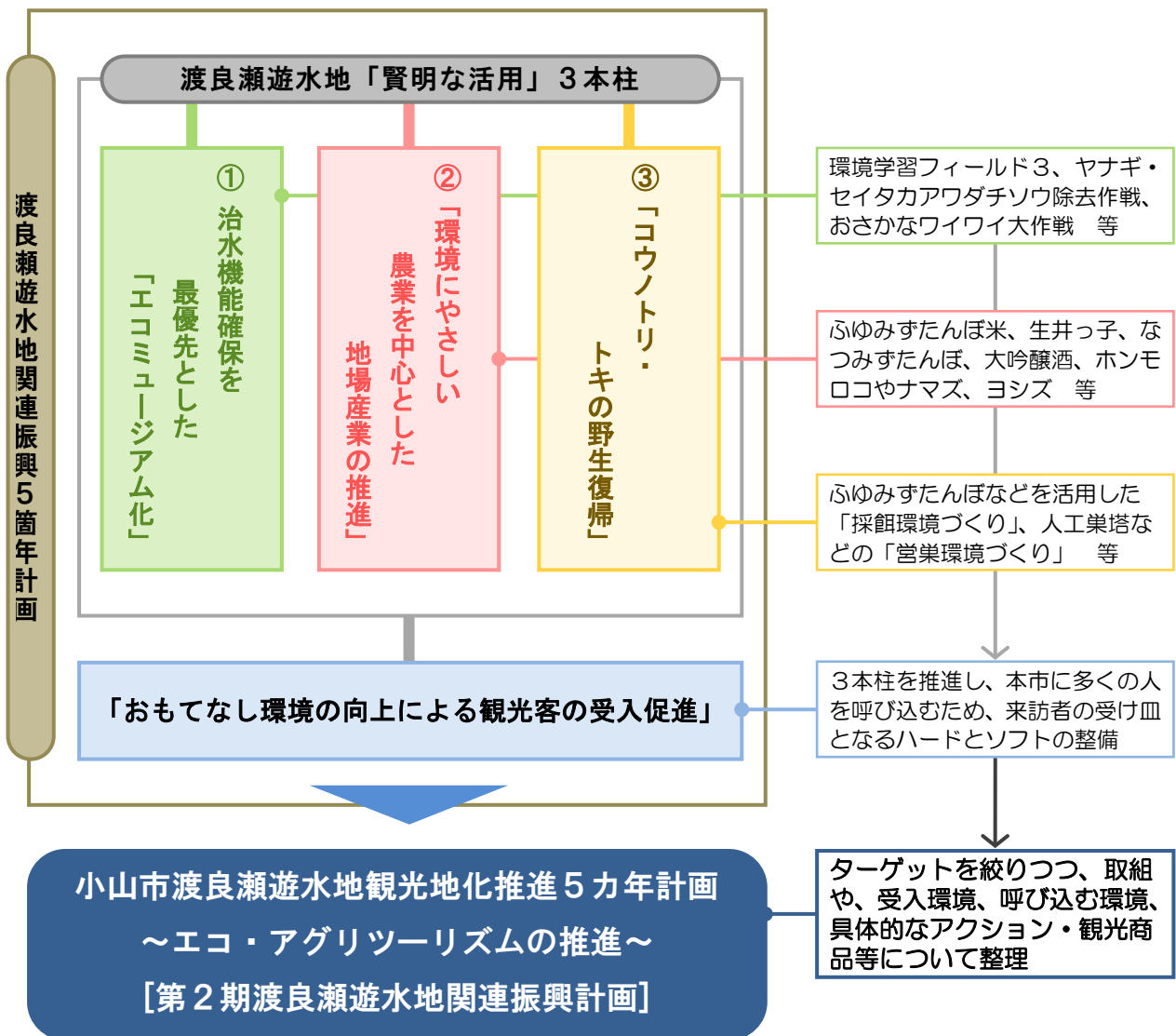
併せて、エコツーリズム推進の観点から、地域の自然や文化を保全しながら、地域が一体となって「人と自然」、「人と人」のつながりを育み、地域に活力を与えることが必要となっています。

これらのことから、将来にわたって、渡良瀬遊水地周辺及びその関連地域の自然環境や伝統文化を守り、活かしていくため、渡良瀬遊水地に関連する施策事業の進捗状況等を検証しつつ、地域住民等の意見を把握しながら、新たな「小山市渡良瀬遊水地観光地化推進5カ年計画 ～エコ・アグリツーリズムの推進～」(第2期渡良瀬遊水地関連振興計画)を策定し実践することで、持続可能な地域づくりを推進していきます。

1-2 計画の位置付け

本計画は、「渡良瀬遊水地関連振興5箇年計画（平成26年3月策定）」の次期計画である「第2期渡良瀬遊水地関連振興計画」として位置付けられており、その施策・事業を踏まえ、「渡良瀬遊水地「賢明な活用」3本柱」の推進を図りつつ、特に、「おもてなし環境の向上による観光客の受入促進」について、ターゲットを絞りながら、取組や、受入環境、呼び込む環境、具体的なアクション・観光商品等について整理した計画です。

■ 計画の位置付け



■ 参考：渡良瀬遊水地「賢明な活用」3本柱

【第1】治水機能確保を最優先とした「エコミュージアム化」



【第2】「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」

【第3】「コウノトリ・トキの野生復帰」

【第1】治水機能確保を最優先とした「エコミュージアム化」

湿地の再生のため、国土交通省が浅い池・深い池の掘削を行い、環境学習フィールド3を造成。小山市では湿地環境の保全として、市民協働のもと、「ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦」や外来魚駆除活動「おさかなワイワイ大作戦」を実施しています。

【第2】「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」

冬の田んぼに水を張り無農薬・無化学肥料で栽培する「ふゆみずたんぼ米」、減農薬・減化学肥料の特別栽培米「生井っ子」の生産や、夏の田畑に水を張ってコウノトリ・トキのエサ場を作る「なつみずたんぼ」の取組を実施しています。

また、「ふゆみずたんぼ米」による「大吟醸酒」造り、ホンモロコヤナマズの養殖、ヨシづくりにも力を入れています。

環境にやさしい農業を通して、コウノトリ・トキのエサとなる生きものが豊かな地域づくりを目指しています。

【第3】「コウノトリ・トキの野生復帰」

「ふゆみずたんぼ」などを活用し、餌となるドジョウやカエル、小魚などが年中生息できるような【採餌環境づくり】と、飛来したコウノトリが巣づくりできるよう、コウノトリ人工巣塔の設置など【営巣環境づくり】を進めています。


こうした努力により、小山市の渡良瀬遊水地及びその周辺地域には、5年連続でコウノトリが飛来しています。

小山市の推進する、コウノトリ・トキも棲める環境づくりが実を結び、近い将来、渡良瀬遊水地にコウノトリ・トキが定着することを期待しています。

1-3 計画期間

計画期間は、栃木デスティネーションキャンペーン（DC）の展開や、東京オリンピック・パラリンピック、第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）等の開催を見据え、2018年から2022年の5年間とします。

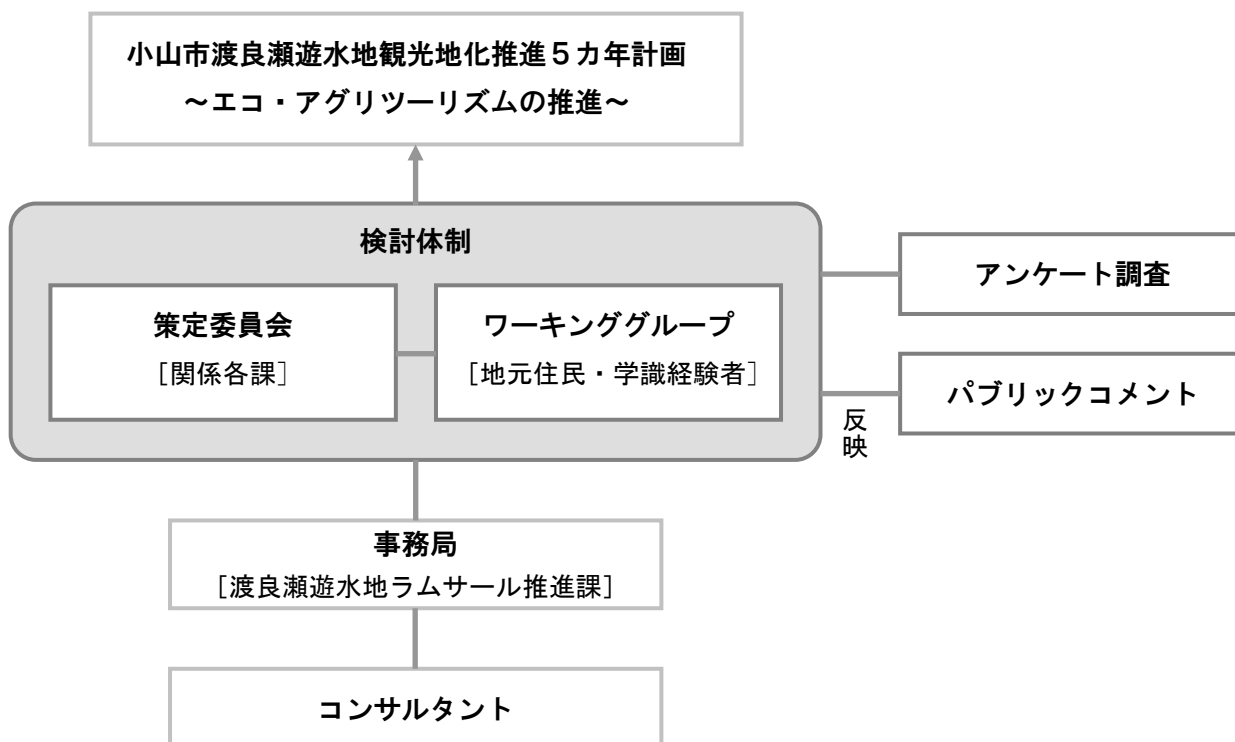
■ 計画期間

2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
プレDC	栃木デスティネーションキャンペーン(DC)	アフターDC	東京オリンピック・パラリンピック	プレ国体	第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)
					
各種重点的な取組・受入態勢整備・PR活動等の推進					

1-4 計画策定の進め方

計画の策定にあたっては、各課調書による観光地化に関する施策事業の提案を踏まえながら、地元住民・学識経験者等によるワーキンググループ（ワークショップ）による検討を進め、パブリックコメントによる市民意見を反映した上で、計画書としてとりまとめます。

■ 計画の策定体制



第2章 計画の推進に向けた基本的考え方

2-1 計画の理念

1) 基本理念（コンセプト）

渡良瀬遊水地を中心とした地域の特徴と魅力・資源を磨き上げるため、次の10のコンセプトを基本理念として設定します。

■ コンセプト

1 自然・文化の保全・活用とブランド化

○地域が一体となって、豊かな自然環境や、誇れる伝統文化の持続的な保全と活用を図るとともに、人々を惹きつけるブランド化の向上を図ります。

2 エコミュージアム化

○絶滅危惧種183種を含む「自然の宝庫」など、貴重な自然環境と共生したエコミュージアム化を図ります。

3 アクセス手段の確保

○首都東京から至近距離で、交通の要衝に位置するなど、小山市の優位な立地利便性を活かすため、渡良瀬遊水地周辺地域へのアクセス手段の確保を図ります。

4 交流・関係人口の増大と地域活性化

○国内外から多くの来訪者を呼び込み、次世代に継承するため、交流・関係人口の増大と地域活性化を図ります。

5 認知度・知名度の向上と魅力的な観光資源の創出

○地域資源の価値を広く、分かりやすく伝えるため、認知度・知名度の向上と、魅力的な観光資源の創出を図ります。

6 小山らしいエコ・アグリツーリズムの推進

○自然や食、歴史文化の体感、文化・ライフスタイル等の提供などにより、小山らしいエコ・アグリツーリズムの推進を図ります。

7 受け入れ体制の整備

○資源やポテンシャル、民間の力を最大限活用しながら、インバウンド対応した受け入れ体制の整備を図ります。

8 上質なサービス提供による魅力・満足度の向上

○必要なソフト・ハードの整備など、上質なサービス提供による魅力・満足度の向上を図ります。

9 体験・滞在型観光（消費拡大）への転換

○点ではなく、線・面的に周遊できる仕組みづくりにより、体験・滞在型観光（消費拡大）への転換を図ります。

10 情報発信の強化

○多様な情報媒体を効果的に活用しながら、市外や海外をターゲットにした情報発信の強化を図ります。

2) 将来像（キャッチフレーズ）

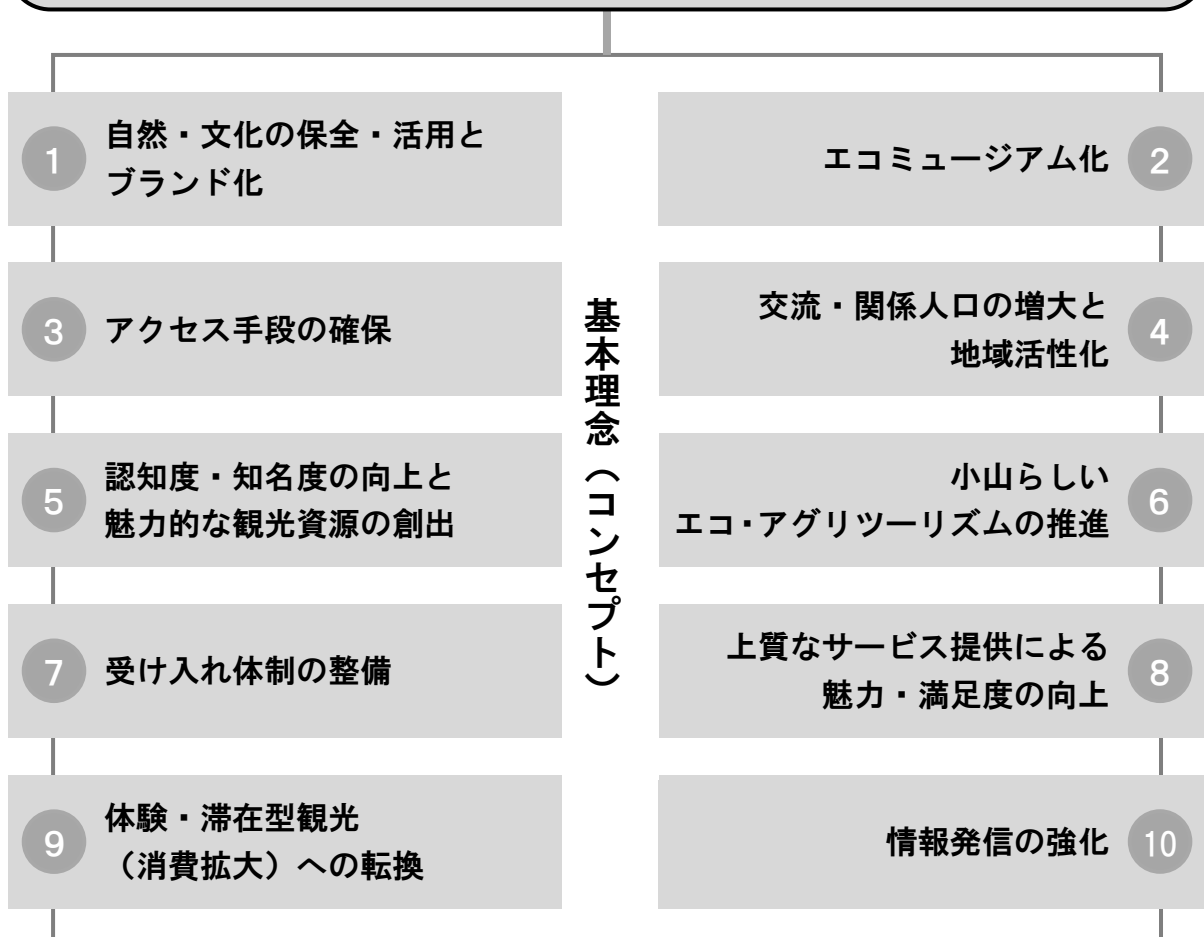
小山市は東京圏からわずか 60km の新幹線が停車する鉄道や国道ともに交差する交通の要衝であり、ラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地とその周辺地域は市の南端に位置し、高い立地利便性が確保されている一方で、絶滅危惧種 183 種を含む自然の宝庫となっており、環境学習に適した環境が確保されています。

また、利根川の治水機能の要であり、古くから連綿と続く歴史や伝統文化が継承され、美しい自然景観が広がっています。

これらのことから、人、水、緑、大地、空をつなぎ、総合的かつ持続的に機能させることで、豊かで美しい自然や文化を守り、楽しめるようにするため、「ひと みず みどり だいち そらをつなぐ 守り親しむ 渡良瀬遊水地エコ・アグリツーリズム」を将来像（キャッチフレーズ）として設定します。

■ キャッチフレーズ

ひと みず みどり だいち そらをつなぐ — 守り親しむ 渡良瀬遊水地エコ・アグリツーリズム —



2-2 現況と課題

エコ・アグリツーリズムを推進する上での「利活用」と「魅力発信」の現状と課題は次のように整理されます。

1) 利活用の現況と課題

① 立地利便性

現況

- 近隣には東北新幹線、JR 宇都宮線や国道 4 号、国道 50 号等が通っており、また、鉄道は東京に直結し、国道は圏央道や東北自動車道に接続できることなどから、都心からの利便性が比較的高い。
- 小山駅と間々田駅にシェアサイクル（らくーる）のポートが設置されており、鉄道と自転車を利用したアクセスも可能である。

課題

- アクセス道路、駐車場・駐輪場、案内看板等の充実
- 渡良瀬遊水地周辺地域へのシェアサイクル（らくーる）のポートの設置
- 渡良瀬遊水地周辺地域を回遊する道路・ルート等の充実

② 体験・学習等

現況

- 年間を通じたイベントとともに、ガイド、野鳥観察会、サイクリングや、市民を対象にした地産地消・食育バスツアー等が行われている。
- 自然環境を活用した体験学習や、保全活動が行われている。

課題

- 市外・県外等を対象にしたエコツアーの実施
- 様々なアクティビティを組み合わせた総合的かつ魅力的なエコツアーの提供

③ 飲食・宿泊

現況

- ラムサールふゆみずたんぼ米の生産や、ラムサールホンモロコ・ナマズの養殖に取り組んでいる。
- 来訪者が滞在するための宿泊施設がない。

課題

- 地元の農・水産物を活用した郷土料理の提供
- 農村環境を活かした多様な宿泊環境の整備

④ 流通・販売

現況

- ヨシを活用したヨシ紙の作製と、名刺等への活用に取り組んでいる。
- ヨシ腐茎土を市民団体と地元の高校が協力して作り活用している。
- ふゆみずたんぼ米、生井っ子、ラムサールホンモロコ・ナマズの販売に取り組んでいる。

課題

- ヨシ紙の作製量の拡大とさらなる活用
- 新たな特産品の商品化による地域活性化の検討
- ふゆみずたんぼ米、生井っ子、ラムサールホンモロコ・ナマズの販売拡大

2) 魅力発信の現況と課題

現況

- 年間を通して、ヨシ焼き、生井桜まつり、たんぼアート、ふゆみずたんぼオーナー制、ツール・ド・おやま、おやま思川ざくらマラソン、Eボートレース渡良瀬大会などの各種イベント等が開催されている。
- 毎年、ラムサール条約湿地登録日にシンポジウムが開催されている。
- 東京・神奈川・千葉県在住者による小山市の観光資源の認知率は、渡良瀬遊水地が最も高くなっている。

課題

- 各種イベントの継続・発展（エコツアーとの連携）
- 多様な情報媒体を活用した効果的かつ多言語に対応した情報発信の検討

2-3 計画推進に向けた視点

基本理念（コンセプト）の具現化にあたっては、現況と課題を踏まえつつ、体系的な視点で施策や取組を整理し、推進していくことが重要です。

そのため、計画推進に向けた視点として、「来る」、「見る・体験する（学ぶ・つくる）」、「食べる・泊まる」、「買う」、「交流する・PR」の5つを設定します。

■ 計画推進の視点



2-4 ターゲットの設定

計画の実現にあたっては、「渡良瀬遊水地の強みと弱み」を的確に把握し、分析を行うことで、ターゲットを明確にし、具体的なアクションを検討していくことが大切です。

1) 渡良瀬遊水地の強みと弱み

渡良瀬遊水地周辺地域の現況と課題や、地域特性、ワークショップ（※1）やアンケート（※2）で出された市民意見などを踏まえながら、渡良瀬遊水地の強みと弱み、内的要因と外的要因について整理し、SWOT分析を行いました。

	強み	弱み
内的要因	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の宝庫（絶滅危惧種を含む 183 種） ○ヨシ焼き・ヨシ原 ○野鳥観察（野鳥の観察スポット） ○富士山の遠景 ○ラムサール条約湿地 ○写真撮影（写真スポット） ○田んぼアート ○治水等の歴史 ○日の出、日没 ○東京から 60km（鉄道で直結） ○交通の要衝（新幹線が停車） ○圏央道の利便性（成田空港等） ○栃木県の南部・北関東の拠点都市 ○おやまブランド ○サイクリングスポット ○アクティビティスポット（市外含む） ○ガイド協会の設立 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道駅からの距離・移動手段 （公共交通、シェアサイクル等の利便性） ○駐車場・駐輪場等の整備状況 （シェアサイクルのポートが未設置） ○案内看板の不足 ○渡良瀬遊水地内の移動環境 （周遊できる道路等の不足） ○地元のおもてなし環境 （飲食、販売、宿泊等） ○県外から人を呼び込むツアー ○ラムサール条約、エコツーリズム等に 対する地元住民の意識 ○河川区域による法的縛り 等
外的要因	<ul style="list-style-type: none"> ○栃木destinationキャンペーン ○2020 東京オリンピック・パラリンピックの 開催 ○第 77 回国民体育大会（いちご一会とちぎ 国体）・全国障害者スポーツ大会の開催 ○全国的なエコツーリズムの浸透 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○有名観光地への通過地点（日光等） ○周辺都市との類似性 （農産物、料理、イベント等） ○地域の高齢化・若手不足 等

※1 ワークショップ：平成 29 年 12 月 2 日（土）に「(仮称) 渡良瀬遊水地観光地化推進計画ワークショップ」を開催し、ワールドカフェ方式で地元住民や専門家及び小山市観光協会の意見をとりまとめた。

※2 アンケート調査：平成 29 年 12 月末に自治会長及び関係団体構成員を対象に実施し、「好きなところ」「良いと思うところ」について、半数以上の方から回答があったものを「内的要因」の「強み」に反映。

2) 基本ターゲットの設定

エコ・アグリツーリズムの推進に向けた具体的なアクションや観光商品を検討するにあたっては、渡良瀬遊水地の強みを伸ばし、弱みを克服しつつ、それらを組み合わせながらターゲットを絞り込むことが重要です。

ここでは、次の理由から、「A 都会の親子連れ」、「B 教育旅行」、「C 「ナチュラリスト」の大人たち」、「D 外国人観光客」の4つをターゲットとして設定します。

A 都会の親子連れ

東京に60kmという立地利便性を活かし、都会では体験できない自然ならではの体験・学習を提供することで、子どもを呼び込むとともに、サブターゲットを親とすることで、渡良瀬遊水地へのリピートを図るため、設定します。

B 教育旅行

都内の小中学生や姉妹都市・友好都市の外国人に、渡良瀬遊水地周辺地域の自然や歴史、農村環境等を活用した環境・自然学習や防災・減災教育を提供するため、設定します。

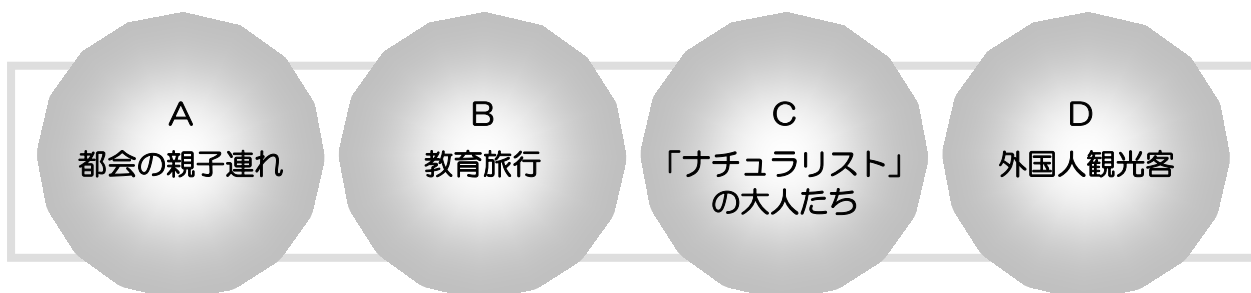
C 「ナチュラリスト」の大人たち

様々な趣味があふれかえっている中で、自転車、写真、野鳥観察、トレッキング等の趣味を満喫する大人（子育て前、子育て後世代）を呼び込むため、設定します。

D 外国人観光客

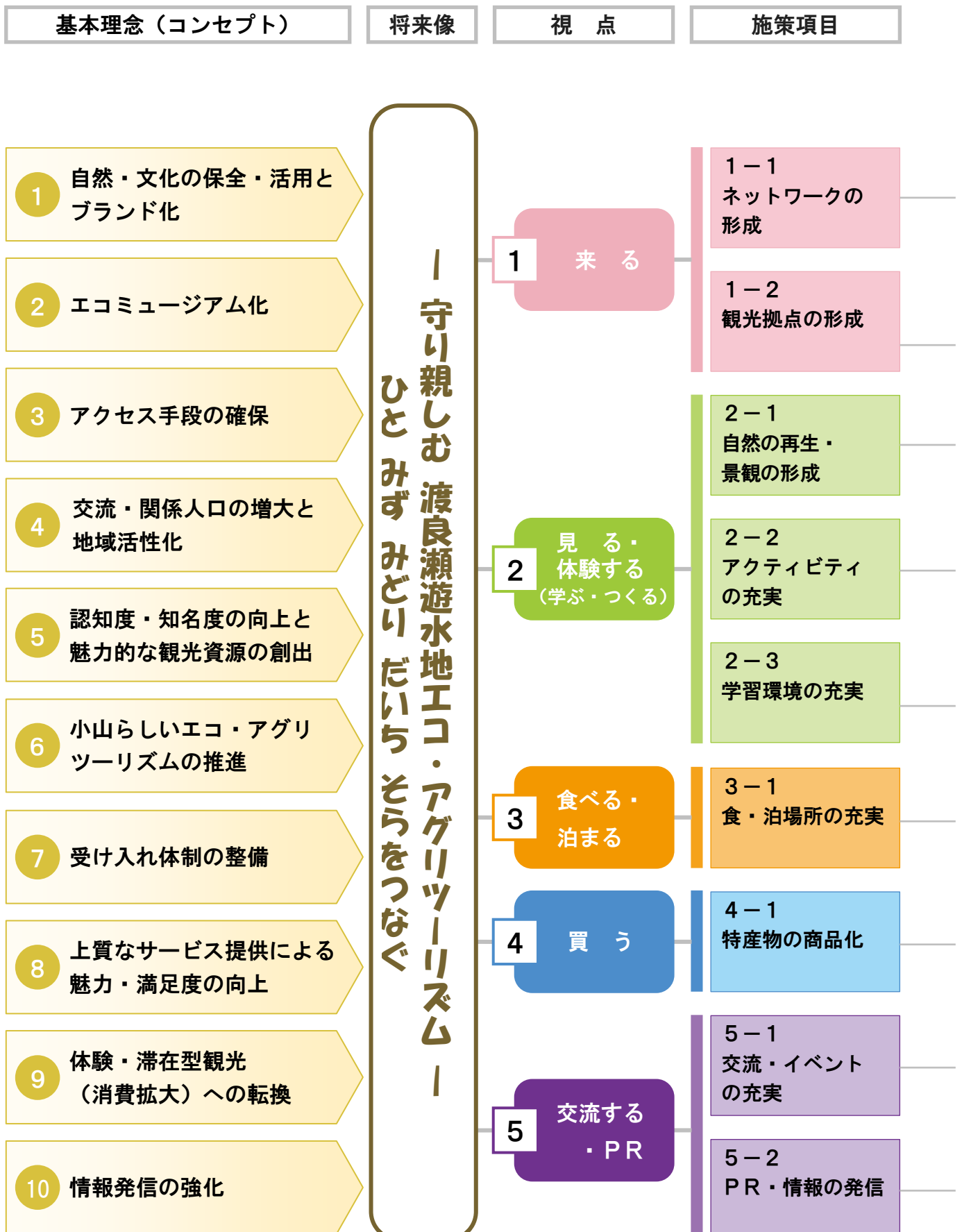
栃木で既に外国人に人気のスポットの途中の立ち寄り地として、交通結節点という強みを生かすとともに、2020東京オリンピック・パラリンピック等の開催を最大限に活用し、「2020年東京オリパラ開催を見据えた小山市インバウンド3ヵ年計画」で位置づけられているターゲット国を中心としたアジア・オーストラリア等の外国人観光客を呼び込むため、設定します。

■ 基本ターゲットの設定



2-5 計画体系

■ 計画体系



※ ①：治水機能確保を最優先とした「エコミュージアム化」
 ②：「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」
 ③：「コウノトリ・トキの野生復帰」

※ 以下 A：都会の親子連れ B：教育旅行
 C：「ナチュラルリスト」の大人たち
 D：外国人観光客

主な取組	ターゲット			
	A	B	C	D
1-1-1 アクセスルート及び周辺道路整備【P15】 1-1-2 サイクリングロード・フットパスの整備・活用【P15】 1-1-3 駐輪場・駐車場の確保【P15】 1-1-4 フラワーロード整備【P16】 1-1-5 デマンドバス、公共交通の活用（駅等からの二次交通）【P16】 1-1-6 レンタサイクル・シェアサイクル活用、サイクルステーション設置【P16】 1-1-7 サイン整備（ルート案内板デザイン統一等）【P17】	●		●	●
1-2-1 エコミュージアムの整備【P19】① 1-2-2 コウノトリ・トキの野生復帰（営巣環境採餌環境の整備）【P19】①③ 1-2-3 旧思川水辺公園の活用【P20】 1-2-4 乙女河岸周辺広場の活用【P20】	●	●	●	●
2-1-1 湿地保全活動の推進【P22】①② 2-1-2 ビューポイント整備（絶景・展望ポイントづくり）【P23】①②③	●		●	●
2-2-1 エコツーリズムの推進（ガイドツアー、周遊コース等）【P25】①③ 2-2-2 トレッキング・バードウォッチング【P25】② 2-2-3 サイクリング・ツーリング【P25】② 2-2-4 遊び場の創出【P26】① 2-2-5 伝統文化体験や農業体験【P26】① 2-2-6 生産体験プログラムの提供（米・野菜等収穫体験等）【P26】①	●		●	●
2-3-1 環境学習の場の提供【P27】① 2-3-2 小口一郎記念館【P28】①② 2-3-3 昆虫標本の活用【P28】	●		●	
3-1-1 ラムサールふゆみずたんぼ米・生井っ子の生産・PR【P30】② 3-1-2 ラムサールホンモロコ・ナマズの養殖【P31】① 3-1-3 おやまブランド・郷土料理の提供【P31】①② 3-1-4 農泊・民泊（空き家の活用）等の多様な宿泊環境の充実【P31】②③	●		●	●
4-1-1 ヨシ活用製品の商品化【P33】② 4-1-2 桑の葉・実及び繭を使用した土産物の販売【P34】② 4-1-3 商品開発・販売環境の充実【P34】②③			●	●
5-1-1 自然学習研修・体験・交流施設の整備検討【P36】①②③ 5-1-2 季節・年間の各種イベント充実（ヨシ焼き、思川桜、田んぼアート、ふゆみずたんぼオーナー制、ツール・ド・おやま、おやま思川ざくらマラソン等）【P37】①②③ 5-1-3 周辺市町の観光拠点との交流・ネットワーク【P37】	●	●	●	●
5-2-1 PR活動の展開（イベント開催、姉妹都市・民間企業等とのタイアップ等）【P38】①②③ 5-2-2 インターネット等多様な情報媒体の活用（HP、SNS等）【P39】①②③ 5-2-3 DC（デスティネーションキャンペーン）の活用【P39】①②③	●	●	●	●

1 来る

1) ネットワークの形成

■ 現況・課題

【アクセス・周辺道路】

- 渡良瀬遊水地へのアクセスとして主要となる市道 4505 号は、平成 30 年 3 月で事業が完了。
- 渡良瀬遊水地への新アクセス道路については、国営かんがい排水事業「栃木南部地区」事業に伴う国・県及び各事業者と調整が必要
- フラワーロードについては、地元活動組織と連携し、植栽計画に基づき植栽を実施中。計画年度が平成 32 年度以降が未定のため実施計画の作成が必要
- 渡良瀬遊水地第 2 調節池周辺の国・県・市道に、渡良瀬遊水地第 2 調節池へのルートや周辺施設を案内する看板の設置が必要

【レンタルサイクル・サイクリングロード・フットパス】

- 「小山・野木サイクリングマップ」で 5 つの広域周遊ルートを設定
- 渡良瀬遊水地の案内看板等の設置と思川のサイクリングロードの一部未舗装の解消が課題
- 小山駅西口及び間々田駅西口に電動アシスト自転車を 20 台配置し、野木町と連携したシェアサイクルの運用を開始（平成 29 年 4 月～）
- 小山市生井地区ラムサール資源を活用した交流促進協議会により、フットパスのコースを検討し、フットパスコースマップを作成（平成 25 年度）
- シェアサイクルの利用状況の調査・分析と、利用促進策の検討・実施が必要

【駐輪場・駐車場】

- 生井ふるさと公園には駐輪場が整備済み。堤防上は専用の駐輪場はなく、自転車利用者は生井桜づつみに駐輪
- 堤防上及び周辺の公園駐車場は、合計で 230 台程度であり、大きなイベント時には駐車場が不足

【公共交通の活用（駅等からの二次交通）】

- デマンドバス（寒川・生井エリア）の主要施設に生井桜づつみが追加され、道の駅線で道の駅から、間々田線で間々田駅西口から利用可能（平成 28 年 10 月～）
- デマンドバスの運休日（土日）への対応や、事前登録、予約（2 時間前まで）等が課題
- 定時定路線バスについては、関係施設の整備状況により今後検討

■ 施策の基本方針

来訪者のアクセス性と回遊性を向上させるため、アクセスルート及び周辺道路、サイクリングロード・フットパス、フラワーロード、サイン等の整備や、駐輪場・駐車場の確保とともに、既存の公共交通やシェアサイクルの活用などにより、多様な道路・交通ネットワークの形成を図る。

1 アクセスルート及び周辺道路整備

【担当課：道路課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	●

各ターゲットともに、二次交通が重要となるため、大型バスや観光タクシーがアクセスできるわかりやすいルートの整備する。また、マイカーで来る人にもわかりやすいアクセスルートを検討整備していく。

主要事業

- 渡良瀬遊水地周辺地区道路整備（市道 4505 号線）
- 渡良瀬遊水地新アクセス道路整備調査事業

2 サイクリングロード・フットパスの整備・活用

【担当課：道路課、
渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	

思川の堤防上のサイクリングロードを活用しながら、渡良瀬遊水地にサイクリングでアクセスできるよう、整備をする。また、生井桜つつみを中心として、その周辺へ自転車でアクセスできることから、近隣市町と連携しながら、自転車の活用を推進する。サイクリングマップを活用し、周辺地域へサイクリストを誘導し、地域の活性化を図る。

また、来訪者が自然や田園風景等の景観を楽しみながら歩くことができるよう、フットパスの整備とフットパスコースの設定を行う。

主要事業

- サイクリングロード整備・活用

3 駐輪場・駐車場の確保

【担当課：建設政策課、水と緑の推進課、
渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
			●	

駐輪場は、生井桜つつみの公園内にサイクルラックを設置する。駐車場は、市が旧思川から松原大橋野木町境までの堤防拡幅等により、駐車台数の確保を検討していく。

主要事業

- 駐輪場・駐車場の確保

4 フラワーロード整備

【担当課：農村整備課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
			●	

フラワーロードについては、通行者を視覚で楽しませる効果があるため、アクセス道路を中心にこれまで整備してきた。今後について、地元活動組織と協議を進め、新たに他の道路を選定し、植栽の可能な箇所について検討する。

主要事業

- フラワーロードの整備

5 デマンドバス、公共交通の活用 (駅等からの二次交通)

【担当課：都市計画課、商業観光課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	

渡良瀬遊水地において開催されるイベントにおいて、2次交通による誘客が重要であることから、デマンドシステムの予約方法（予約締め切り時間を30分前に短縮）の再構築や、拠点を巡るコミュニティバスの運行を検討する。

また、駅等からの二次交通を確保するため、レンタカーへの助成を検討する。

主要事業

- 交通手段の整備（コミュニティバスの運行）・利便性の向上
- レンタカーを利用した旅行者への利用料金補助事業

6 レンタサイクル・シェアサイクル活用、 サイクルステーション設置

【担当課：建設政策課、
渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
			●	●

会員登録者及び利用者を増やすため、SNSによる情報発信やおーラジ、白鷗大学と連携したPR活動を行うとともに、利用者にわかりやすい案内表示を小山駅中央自由通路やサイクルステーションに設置する。また、利用実績に基づき利用率の高い小山駅西口や新たなサイクルステーションに車両を振り分け、利用率を向上させる。さらに、サポーター制度構築によるチラシ・サイクリングマップの配付や意見収集などの利用促進策を実施し、より手軽に利用できるよう利用環境を向上させていく。

ヨシ焼きなどで体験試乗会を開催し、渡良瀬遊水地で実施されるイベントの際のアクセス手段としてPRする。

主要事業

- シェアサイクルを活用した渡良瀬遊水地広域誘客推進事業

7 サイン整備 (ルート案内板デザイン統一等)

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課、
道路課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
			●	●

渡良瀬遊水地第2調節池への、ルート案内看板について、アクセスする上で特に重要となる場所を検討しながら、間々田駅、野木駅等からレンタカーで来る人、市外から来る人がわかりやすいルート案内板を検討・整備する。

第2調節池内及び周辺施設の案内表示については、施設整備の進捗に合わせ、適切な時期に設置する。

主要事業

- 渡良瀬遊水地ルート案内板設置事業

2) 観光拠点の形成

■ 現況・課題

【エコミュージアムの整備】

- 渡良瀬遊水地における「エコミュージアム」の位置付けの決定と、施設配置・ルート構想のとりまとめ、必要な施設整備の検討が必要
- 「渡良瀬遊水地第2調節池エコミュージアム基本計画」の見直しと実施計画の策定が必要

【コウノトリ・トキの野生復帰（営巣環境採餌環境の整備）】

- コウノトリ人工巣塔を渡良瀬遊水地内及び周辺に5基設置
- 渡良瀬遊水地周辺地域において採餌環境として無農薬・無化学肥料による「ふゆみずたんぼ」を推進
- 環境学習フィールド3の池において外来魚駆除を実施
- なつみずたんぼ振興事業は、生井・寒川・中・穂積地区で7～9月に実施しているが、近年、飼料用米の作付面積の増加により、実施面積の確保が課題

【公園等拠点の活用】

- 旧思川水辺公園の水辺を周遊する園路・植栽の整備推進と、水質・植生改善に向けた検討を実施
- 整備後の良好な維持管理運営を行うため、十分に機能する維持管理体制の構築が必要
- 平成27年3月に乙女河岸が整備完成し、市が管理主体として管理、安全で快適な利用を促進するため、環境美化活動を推進

■ 施策の基本方針

渡良瀬遊水地周辺地域が有する豊かな自然環境を保全・活用しつつ、市内外から来訪者を呼び込むため、エコミュージアムの整備や、コウノトリ・トキの野生復帰とともに、旧思川水辺公園や乙女河岸周辺広場の活用などにより、魅力的な観光拠点の形成を図る。

1 エコミュージアムの整備

【担当課：建設政策課、
渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●	●	●	●

国が掘削を進める「浅い池」、「深い池」の周辺を散策して、渡良瀬遊水地の貴重な自然や美しい景観を来訪者が楽しめるよう、池の周辺にヨシチップ等による自然系散策路を整備し、散策路沿いに野鳥観察小屋などの自然観察施設や、栈橋などの水辺自然体験活動施設、来訪者に解説する案内看板等の整備を進める。

生井桜つつみ周辺の堤防法面にマツバギク等を植栽し、田んぼアート事業と合わせて魅力あるビューポイントづくりを進める。

エコミュージアムを活用した、各種体験型のイベントについて、その実施主体や実施方法、PR方法を検討し、エコツアーとして実施していく。

また、施設の整備やエコツアーの実施にあたっては、より魅力的かつ効果的なものとなるよう、関係団体と連携・協力しながら、検討を進める。

主要事業

- 渡良瀬遊水地エコミュージアム化事業

2 コウノトリ・トキの野生復帰
(営巣環境採餌環境の整備)

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課、農政課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	

国の天然記念物にも指定されているコウノトリが、渡良瀬遊水地に定着するよう、営巣環境として、コウノトリ人工巣塔を設置するとともに、採餌環境として、環境にやさしい農業の推進や、外来魚駆除による在来魚の増加など、年間を通して餌となる生きものが豊富な環境の整備を図る。

また、実際に飛来したコウノトリの写真や映像の展示や、コウノトリのモニュメントの設置など、来訪者へのPRを図るとともに、先進事例を参考にしながら、飼育ケージの設置等のコウノトリ関連施設を整備する。

加えて、ふゆみずたんぼやなつみずたんぼの美しさを渡良瀬遊水地から見る景観、環境学習の1つとして位置づけPR、拡大を図る。

主要事業

- コウノトリ・トキ採餌環境整備事業
- なつみずたんぼ振興事業
- 環境にやさしい農業推進事業（ふゆみずたんぼ米、生井っ子）

3 旧思川水辺公園の活用

【担当課：建設政策課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●	●		●

旧思川の水辺を周遊する園路に藤棚の回廊を整備するとともに、両岸水辺にハナショウブ、園路沿いにスイセン・アジサイ、法面にヒガンバナを植栽し、訪れた人々が四季折々の花々を楽しみ憩える、魅力的な水辺を整備する。

周遊園路による人の回遊性を高めるため、展示している和船（揚げ舟）を通して、昔の洪水の歴史を学びながら、旧思川の水辺で乗船体験等ができるよう、船着場を整備する。

主要事業

- 旧思川水辺公園整備事業

4 乙女河岸周辺広場の活用

【担当課：水と緑の推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
			●	●

間々田駅と渡良瀬遊水地を結ぶルート上の重要な拠点となることから、自転車や車でめぐる、思川・渡良瀬舟運ルート、歴史探索ルート等を位置づける。

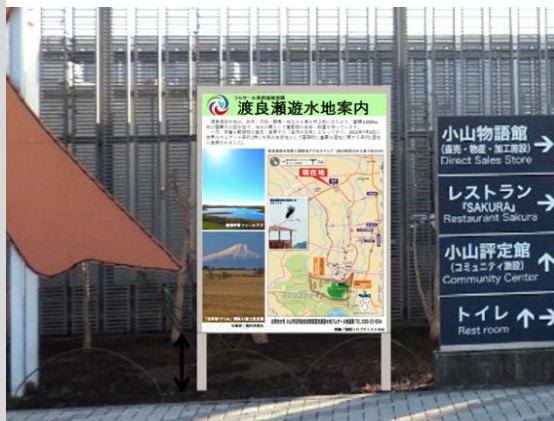
1 来る



シェアサイクル



生井桜つつみ駐車場



案内板



コウノトリ人工巣塔

2 見る・体験する（学ぶ・つくる）

1) 自然の再生・景観の形成

■ 現況・課題

【湿地保全活動の推進】

- 外来植物の除去活動を年間5回実施し、平成29年度には、初めて外来魚駆除活動も実施
- 渡良瀬遊水地第2調節池の動植物の生息環境調査の実施や、実施場所・時期の検討が課題

【ビューポイント整備（絶景・展望ポイントづくり）】

- 誘客を図るため、話題性のある魅力的な絵柄を採用した田んぼアートを実施し、広くPR
- 平成29年度に渡良瀬遊水地周辺4市2町で日本遺産に申請したが、認定されなかったため、平成30年度の認定が課題

■ 施策の基本方針

ラムサール条約湿地の多様な自然生態系や、周辺地域に広がる田園風景等の景観を保全・活用しながら、自然環境や景観への関心を高め、人を呼び込むため、参加型の湿地保全活動の推進や、田んぼアート等のビューポイント整備などにより、自然の再生と景観の形成を図る。

1 湿地保全活動の推進

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課、農政課】

■ 今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	

体験型エコツアーの一環として、位置づけ、湿地の保全活動とその活動による成果を参加者が体験できるようなものとする。

より質の高い保全活動を実施するため、動植物生息調査を実施するとともに、活動の受け入れ態勢を確保することで、参加者を増加させることにより、渡良瀬遊水地へ訪れる人を増やし、渡良瀬遊水地の魅力を知ってもらう。

市内協力者については、その功労をHP等で広くPRする。

■ 主要事業

- 渡良瀬遊水地第2調節池外来種除去活動
- 渡良瀬遊水地第2調節池動植物生息調査
- 【再掲】なつみずたんぼ振興事業

2

ビューポイント整備 (絶景・展望ポイントづくり)

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課、
農村整備課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	●

魅力ある絵柄を田んぼアートで描き、田植え体験や稲刈り体験等の農業体験により、農業や環境への関心を高め、多くの人を呼び込む。

関東富士見百景や、田園風景等、都会で見ることのできないビューポイントを情報として、発信していく。また、ビューポイントを活用し、フォトコンテストの実施や写真家を対象としたプログラムの検討をする。

主要事業

- 渡良瀬遊水地第2調節池フォトコンテスト
- 田んぼアート事業

2) アクティビティの充実

■ 現況・課題

【エコツーリズムの推進（ガイドツアー、周遊コース等）】

- 社会科見学や総合的な学習の時間等において、渡良瀬遊水地を訪れる小中学生を中心にガイドを実施
- 各種団体から依頼に応じて、渡良瀬遊水地やその周辺を案内
- ブース出展可能なイベントにおいて、ミニヨシズ作り体験を実施
- つばめのねぐら入りとチュウヒの飛び立ち観察会を実施

【スポーツ等】

- レンタルサイクリング、シェアサイクリングを展開
- サイクリングマップを作成し、駅から渡良瀬遊水地までの案内とその周辺の案内を実施
- スポーツ自転車利用者は、ほぼ通過している
- 環境学習フィールド3での水遊びは、現在、実施していない

【伝統文化体験や農業体験】

- 市民を対象にした地産地消・食育バスツアーを実施
- 東京圏の住民を対象にしたバスツアーを実施
- ふゆみずたんぼ米のオーナー制度や田んぼアートの田植え、稲刈り等地元で生産されている農作物の収穫体験を実施

■ 施策の基本方針

豊かな自然・水辺や、地域の農業・伝統文化を活かしつつ、多様なニーズに対応した体験の場を提供するため、エコツアー、トレッキング・バードウォッチング、サイクリング・ツーリング、ボート等水遊びの充実とともに、伝統文化体験や農業体験、生産体験プログラムの提供などにより、魅力的なアクティビティの充実を図る。

1 エコツーリズムの推進 （ガイドツアー、周遊コース等）

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●			●

小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会を組織し、これまで同様の小中学生へのガイドをはじめ、市内外の観光客はもちろん、外国人観光客への案内を実施する。

さらに、自主事業として、エコツアー等イベントの企画・運営をし、渡良瀬遊水地の魅力を発信する。

主要事業

○小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会との連携

2 トレッキング・バードウォッチング

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
			●	

渡良瀬遊水地に生息・生育する野鳥や植物のフェノロジーカレンダーをもとに、季節ごとに植物観察やバードウォッチングが楽しめるようPRしていく。

また、市外の人を対象とした観察会を実施していく。

主要事業

○バードウォッチング

3 サイクリング・ツーリング

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
			●	

サイクリングマップを配布し、モデルコースを積極的にPRしていくとともに、他のサイクリングルートからの案内を検討する。

近隣の市町の観光拠点をつなぐサイクリングコースをPRする。

また、スポーツ自転車で景色を見に来てもらい休憩ができるように、駐輪場等の案内や見学できるものをPRしていく。

主要事業

○サイクリングマップの配布・他の地域のサイクリングルートからの案内

4 遊び場の創出

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●			

ボート、ヨシ舟等の乗船や、バルーン等の搭乗など、多種多様な体験型のアクティビティの整備により、親子で楽しめるような遊び場を創出する。

なお、エコミュージアムとして整備されるまでは、ゴムボートによる乗船体験や地元主体のヨシ舟による乗船体験を実施し、使用料等を含め貸出の方法等について検討していく。

主要事業

- ボート等による水遊び

5 伝統文化体験や農業体験

【担当課：農政課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●			

東京圏の住民を対象にバスツアーを実施し、収穫体験等により安全安心な小山市の農産物のPRを行う。季節ごとに体験できる農作物等の整理をし、親子を対象とした体験プログラムの検討をする。(1月から12月までのイベントカレンダーに計上する)

主要事業

- 食農体験バスツアー

6 生産体験プログラムの提供 (米・野菜等収穫体験等)

【担当課：農政課・農村整備課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●			

田んぼアートの田植え、見学、稲刈りを体験・食をテーマにしたストーリーを組み立てる。また、ふゆみずたんぼのオーナー制度等の体験の場でふゆみずたんぼ米と通常のお米等の違いや、なぜふゆみずたんぼ米なのかといった、環境学習を取り入れる。

市民農園の体験を充実させて、渡良瀬遊水地に来る人を呼び込む。

イチゴ狩等、体験型観光地と連携し、都会の親子連れに普段体験できないプログラムを提供する。

主要事業

- 【再掲】田んぼアート事業
- ふゆみずたんぼオーナー制度
- 市民農園体験

3) 学習環境の充実

■ 現況・課題

【環境学習の場の提供】

- 市内の子ども達を対象にした自然・歴史の学習プログラムを実施中
- 都会の子ども達を対象にした学習プログラムの提供に向けた検討が課題

【小口一郎記念館】

- 小口一郎研究会が所蔵していた小山出身の版画家・小口一郎の作品等の資料を一括受託して、保存状態や品種項目の詳細調査を実施

【昆虫標本の活用】

- 寄贈を受けた昆虫標本について、種別や採集された国・地域に、体系的な分類、名称の確認など整理を進めている。

■ 施策の基本方針

都会の子どもたちの渡良瀬遊水地の自然や歴史等に関する理解を深め、自然環境や、公害の歴史を学ぶ場所として、活用していく。

また、小口一郎の作品や昆虫標本を展示する場所を検討し、渡良瀬遊水地ゆかりの芸術・自然を学べる環境の整備を実施する。

1 環境学習の場の提供

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課
教育研究所】

■ 今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●	●		

環境学習の場として、都内では経験することのできない、広大な渡良瀬遊水地の歴史や治水・利水といった防災・減災、現在の湿地保全について、市教育委員会で作成した学習ブックや渡良瀬遊水地保全利活用協議会で作成を検討している教材等を活用しながら、環境学習の場を提供する。

■ 主要事業

- 環境学習ブックの活用

2 小口一郎記念館

【担当課：文化振興課】

■ 今後の取組方針

ターゲット

A	B	C	D
●		●	

調査資料の活用について、また、郷土の芸術家の作品にふれる環境整備について、検討する。

■ 主要事業

- 小口一郎記念館整備事業

3 昆虫標本の活用

【担当課：博物館】

■ 今後の取組方針

ターゲット

A	B	C	D
●		●	

渡良瀬遊水地周辺での昆虫標本を活用し、環境学習の推進を図る。また、昆虫標本の展示場所については、今後、他の拠点施設整備時に一体的な活用を図る。

■ 主要事業

- 昆虫標本の活用

2 見る・体験する(学ぶ・つくる)



田んぼアート



フォトコンテスト



案内ガイド



環境学習ブック

3 食べる・泊まる

1) 食・泊場所の充実

■ 現況・課題

【ラムサールふゆみずたんぼ米・生井っ子の生産・PR】

- 生産量を拡大させるため、生産農家・生産面積の拡大と反収の増加が課題
- 市の補助金に頼らない経営自立に向けた検討が必要

【ラムサールホンモロコ・ナマズの養殖】

- 養殖農家が毎年安定した高い収穫量を得られるよう、養殖技術の研究や、養殖技術指導の実施等が必要
- 生産量を増加するため、新規養殖池拡大に向けた取組が必要

【おやまブランド・郷土料理の提供】

- 体験交流施設内に農村レストランを整備し、郷土料理の提供を行う予定
- 閉校予定の下生井小学校を活用した施設整備に向けて、閉校時期など調整が必要

【農泊・民泊（空き家の活用）等の多様な宿泊環境の検討】

- 農泊の推進に向けて、平成 29 年度に計画・運営支援の業務委託を実施
- 農泊事業の希望者が少ないことや、関係法令に沿った民家の改修や資格取得などが課題
- 平成 30 年に民泊新法（住宅宿泊事業法）が施行され、空き家を活用した民泊が期待される

■ 施策の基本方針

来訪者に地元の農・水産物や農村環境を活かした「おもてなし」を提供するため、ラムサールふゆみずたんぼ米・生井っ子の生産・PRや、ラムサールホンモロコ・ナマズの養殖、おやまブランド・郷土料理の提供とともに、農泊・民泊等の多様な宿泊環境の充実などにより食・泊場所の充実を図る。

1 ラムサールふゆみずたんぼ米・生井っ子の生産・PR

【担当課：農政課】

■ 今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	

生産量拡大を推進することに加えて、有機肥料の自家生産等による生産経費の削減を進めることや、販売の一括管理、安定した販路の確保等に取り組んでいく。

ふゆみずたんぼ米を使った料理等をイベント時に提供することにより、おやまの味をPRするとともに、ふゆみずたんぼの効果等についてもPRしていく。

■ 主要事業

- 【再掲】環境にやさしい農業推進事業（ふゆみずたんぼ米、生井っ子）

2 ラムサールホンモロコ・ナマズの養殖

【担当課：農政課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●			

ホンモロコやナマズの養殖場の見学を環境にやさしい農業の体験ツアー等に組み込みPRする。
ホンモロコ、ナマズの試食や料理の提供を観光客に提供できるよう検討する。

主要事業

- 「ふゆみずたんぼ」生き物増殖事業
- ラムサールホンモロコ・ナマズ養殖施設整備事業

3 おやまブランド・郷土料理の提供

【担当課：農政課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	

おやまブランドや、郷土料理の提供をする拠点として、未利用地や小学校の閉校跡地を視野に入れ体験交流施設の整備検討を進める。

主要事業

- 【再掲】環境にやさしい農業推進事業（ふゆみずたんぼ米、生井っ子）
- 拠点施設の整備（情報発信・地域交流の場の創出）

4 農泊・民泊（空き家の活用）等の多様な宿泊環境の充実

【担当課：農政課、建築指導課、総合政策課、渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●	●	●	

農泊希望者へのワークショップの開催や、地元団体への説明会などを通して、参加者の拡大を図るとともに、関係法令の勉強会を開催し、希望者への理解を進めていく。
インバウンドを含めた教育旅行等と連携し、宿泊環境の充実を図る。
また、空き家等を活用した民泊の普及や、公共用地等を活用したオートキャンプ場の整備を図る。

主要事業

- 農泊の導入
- 空き家を活用した民泊の推進
- 小山市インバウンド3カ年計画

3 食べる・泊まる



ふゆみずたんぼ



ふゆみずたんぼ米

純米大吟醸



ラムサールホンモロコ・ナマズ養殖池



ラムサールホンモロコ

4 買う

1) 特産品の商品化

■ 現況・課題

【ヨシ活用製品の商品化】

- ヨシ紙を作成し、市内各小中学校の卒業証書や、市職員の名刺に活用
- 商品を増やすには、ヨシ紙の最低ロットが700kgのため、1,400kgのヨシが必要

【桑の葉・実及び繭を使用した土産物の販売】

- 遊水地に桑の木が自生し、遊水地周辺地域に「生井桑摘み歌」があるなど、昔から桑とゆかりのある地域
- 桑の葉・実等を使用した商品開発を実施し、菓子や酒類、ジャム等様々な商品を開発
- まゆクラフトの体験講座等を実施し、まゆクラフトを販売
- 桑の実の収穫量や、桑の実を摘む人材の不足が課題

【商品開発・販売環境の充実】

- 渡良瀬遊水地を模した土産物等が不足
- 農産物の直売所など、来訪者が特産品を購入できる場が不足

■ 施策の基本方針

特産品の加工・流通・販売を促進し、渡良瀬遊水地をPRするため、ヨシズ生産・加工販売やヨシ紙商品化等によるヨシ活用の推進とともに、桑の葉・実及び繭を使用した土産物の販売などにより、特産品の商品化を図る。

1 ヨシ活用製品の商品化

【担当課：商業観光課、教育総務課】

■ 今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
			●	

ヨシ紙の作成量を増やすことで商品数を増やす。商品化されたものを、道の駅等で販売や、各ツアー等の参加賞等で利用し、広くPRする。

■ 主要事業

- ヨシ紙商品化事業
- ヨシズ設置事業

2 桑の葉・実及び繭を使用した土産物の販売 【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課、商業観光課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
			●	

今後も、商品開発を実施し、土産物として、特徴あるものを提供していく。渡良瀬遊水地周辺地域での桑の実等の収穫について、その実施方法等検討していく。

まゆクラフトを積極的にPRする場として各種渡良瀬遊水地のイベント等での紹介や土産物としての販売、体験講座等を活用していく。

主要事業

- 「桑・蚕・繭・紬・和装・和食」地域資源で紡ぐ
「日本の伝統を生かした総活躍のまち」づくり事業

3 商品開発・販売環境の充実 【担当課：農政課、渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●	●	●	●

渡良瀬遊水地にちなんだ魅力的な商品を来訪者に提供するため、民間活力を導入した商品開発を推進する。

また、来訪者が地元の特産品を購入することで、地域の活性化や交流の促進につなげるため、地元が主体となった農産物の直売所の整備や、軽トラック市開催など、販売環境を充実させていく。

主要事業

- 生井地区ラムサール資源を活用した交流促進協議会事業

4 買う



ヨシズ



地元産農作物の販売



桑畑



桑の実

5 交流する・PR

1) 交流・イベントの充実

■ 現況・課題

【自然学習研修・体験・交流施設の整備検討】

- 体験交流施設は、閉校予定の下生井小学校を活用することから、閉校時期など調整が必要

【季節・年間の各種イベント充実（ヨシ焼き、思川桜、田んぼアート、ふゆみずたんぼオーナー制、ツール・ド・おやま、おやま思川ざくらマラソン等）】

- 季節ごとにヨシ焼き、思川桜、田んぼアート、ふゆみずたんぼオーナー制、ツール・ド・おやま、おやま思川ざくらマラソン等の各種イベント等を実施

【周辺市町の観光拠点との交流・ネットワーク】

- 渡良瀬遊水地は、4市2町にまたがる場所であり、各自治体の観光拠点（観光資源）が数多く点在する地域で、よりいっそうのネットワークの強化が課題

■ 施策の基本方針

交流の機会を創出し、地域の活性化を図るため、自然学習研修・体験・交流施設の整備検討とともに、季節・年間の各種イベントの充実などにより、渡良瀬遊水地周辺地域が有する自然環境や伝統文化等を活用した交流・イベントの充実を図る。

1 自然学習研修・体験・交流施設の整備検討

【担当課：農政課、
渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

■ 今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	●

拠点として、未利用地や小学校の閉校跡地を視野に入れ体験交流施設の整備検討を進める。

また、情報発信や地域交流の場を創出するため、空き家等を活用した小規模の拠点施設の整備を進める。

■ 主要事業

- 渡良瀬遊水地体験交流施設整備事業
- 【再掲】拠点施設の整備（情報発信・地域交流の場の創出）

2

季節・年間の各種イベント充実

(ヨシ焼き、思川桜、田んぼアート、ふゆみずたんぼオーナー制、
ツール・ド・おやま、おやま思川ざくらマラソン等)

【担当課：農村整備課、生涯スポーツ課、渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	●

多くの参加者を呼び込み、地域のPRと活性化につなげるため、他市町と連携しながら、イベントを精査し、継続・発展させていく。

主要事業

- 【再掲】田んぼアート事業
- 【再掲】ふゆみずたんぼオーナー制度
- ツール・ド・おやま
- おやま思川ざくらマラソン大会

3

周辺市町の観光拠点との交流・ネットワーク 【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●	●	●	●

渡良瀬遊水地周辺市町の観光拠点とのネットワークを強化し、渡良瀬遊水地全体でたくさんのお客を取り込めるようにする。

主要事業

- 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の活用

2) PR・情報の発信

■ 現況・課題

【PR活動の展開（イベント開催、姉妹都市・民間企業等とのタイアップ等）】

- 渡良瀬遊水地のPRのため、ラムサール条約湿地登録日に合わせ、毎年シンポジウムを開催

【インターネット等多様な情報媒体の活用（HP、SNS等）】

- 小山市の観光資源のうち、東京・神奈川・千葉在住者の認知率が最も高いのは渡良瀬遊水地（12.5%）[平成27年消費者調査結果]
- 今後も、さらなる認知度の向上や、交流人口の増加に向けた情報発信が必要

【DC（デスティネーションキャンペーン）の活用】

- JRとの協働によるデスティネーションキャンペーン事業（平成29年度～31年度）において、観光事業者と行政のタイアップによる渡良瀬遊水地等地域資源を活用した東京駅及び小山駅発着「体験型バスツアー」を開催

■ 施策の基本方針

渡良瀬遊水地周辺地域の認知度を高めるとともに、来訪者を増やすため、PR活動の展開や、インターネット等多様な情報媒体の活用などにより、市内外への積極的なPR・情報の発信を推進する。

1 PR活動の展開（イベント開催、姉妹都市・民間企業等とのタイアップ等）

【担当課：総合政策課、渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

■ 今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●	●	●	●

シンポジウム等開催しながら、今後も継続的に市外へのPRを実施していく。
地域おこし協力隊による市外へのPR活動を推進する。
渡良瀬遊水地のイメージキャラクターの作成や、店舗・イベント等での積極的な活用など、民間企業と連携・協力したPR活動を推進する。

■ 主要事業

- ラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」登録記念シンポジウム
- エコライフフェア、ジャパンボードフェスティバル等、主要イベントでのPR活動
- 教育旅行の誘致活動

2 インターネット等多様な情報媒体の活用 【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課 秘書広報課、総合政策課】

(HP、SNS等)

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●	●	●	●

渡良瀬遊水地の四季の風景のほか、コウノトリ飛来、外来種除去などの情報を小山市公式ホームページ、わたらせ自然ミュージアム(HP)、SNS(Facebook、Instagram、Twitter)を活用して、写真はもとより動画などの魅力的なコンテンツを効果的に情報発信する。

※主体：行政、地域おこし協力隊、NPOなどの連携

主要事業

- 多様な情報媒体(HP、SNS等)を活用した効果的な情報発信

3 DC(デスティネーションキャンペーン)の活用 【担当課：商業観光課】

今後の取組方針

ターゲット	A	B	C	D
	●		●	●

平成30年本DC及び平成31年アフターDCにおいて、渡良瀬遊水地及び周辺地域に市内各施設等を組み合わせたツアー及び観光事業者による商品化を推進し、DC後も継続的に誘客できる観光地化を図る。

主要事業

- デスティネーションキャンペーン事業

5 交流する・PR



渡良瀬遊水地第2調節池環境学習フィールド3



PR活動



ツール・ド・おやま



コウノトリ「ひかる」、右・真ん中 デコイ

■ 指標・KPI

1 来る

指標名	現状値 [H29]	目標値 [H34]	担当課
駐車台数	230 台	300 台	建設政策課、 渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
デマンドバス生井桜つつみ年間利用者数	0人	50 人	都市計画課
シェアサイクルの利用回転台数	0.2 回／台・日	1.0 回／台・日	建設政策課、 渡良瀬遊水地 ラムサール推進課

2 見る・体験する（学ぶ・つくる）

指標名	現状値 [H29]	目標値 [H34]	担当課
渡良瀬遊水地第2調節池外来種 除去活動参加者数	2,800 人	3,300 人	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
研修・学習で訪れた方の人数、 自主事業への参加者数	1,600 人	2,200 人	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
ツアー参加者人数及び、 バードウォッチング者数	60 人	300 人	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
スポーツ自転車愛好家の来訪者数	—	1,000 人	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
ボート乗船イベント参加者数	50 人	400 人	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課

3 食べる・泊まる

指標名	現状値 [H29]	目標値 [H34]	担当課
ふゆみずたんぼ米生産量	20t	40t	農政課

4 買う

指標名	現状値 [H29]	目標値 [H34]	担当課
おもてなし物販利用者数 (※)	120 人	1,200 人	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課

※生井地区おもてなし事業による販売商品数に基づき算出

5 交流する・PR

指標名	現状値 [H29]	目標値 [H34]	担当課
渡良瀬遊水地の認知率 (※)	12.5%	20% (H32)	秘書広報課、 渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
アプリダウンロード数	0	年間 1,500	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
SNS 関連閲覧数	15,385	年間 200,000	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課

※「第1期小山市シティプロモーション5カ年計画」策定に向けた消費者調査、H27実施

第4章 計画の実現化方策

4-1 受入環境整備

● 受入環境整備

■ 現況・課題

【おもてなしの提供（地域のおもてなし意識の醸成）】

- 小山市生井地区ラムサール資源を活用した交流促進協議会において、年3回（田んぼアート田植え、田んぼアート稲刈り、ヨシ焼き）のおもてなし事業を実施

【インバウンド対応の情報提供・情報発信

（多言語・コミュニケーションボード等の活用、情報拠点の設置）】

- 渡良瀬遊水地を含む周辺の観光に関する案内板や説明ボードに外国語表記がない
- 外国語表記があるものについても、観光推進という観点からの魅力に欠けている
- JICAによる研修やシンガポールの高校の修学旅行を実施
- 訪れた際の案内は、先方が依頼をした通訳を通しての説明のほか、英語が得意なボランティアガイドが対応

【デジタルガイドツール等の活用（GPS：位置情報、スマホアプリ等）】

- 事前申込みによるガイドの対応を実施
- 現地に立ち寄った観光客をガイドするツールが課題

【ガイド育成・ガイド協会との連携】

- 平成29年度に小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会を設立
- およま市民大学の講座を受講後、25名がガイド協会に加入
（平成29年度の受講人数は8名）
- ガイド協会と連携した遊水地のボランティアガイドの運営が課題

【再生可能エネルギーの活用】

- バイオマスペレットボイラー等を導入する予定であった農村交流施設の計画及び建設が変更・延期
- 最初の機器導入が学校施設へのペレットストーブとなり、関係機関等と協議を行いながら、設置場所の決定が必要

【CSRや市民参加型の環境保全活動の充実（クラウドファンディング等の活用）】

- 関係機関や関係団体、ボランティアの協力のもと、外来植物の除去活動を年間5回実施し、平成29年度には、初めて外来魚駆除活動も実施
- 一部の企業では、CSR活動の一環として、外来植物の除去活動を実施

■ 施策の基本方針

栃木デスティネーションキャンペーンの展開や、東京オリンピック・パラリンピック等の開催を見据え、おもてなしの提供、インバウンド対応、DC（デスティネーションキャンペーン）の活用、ガイド育成・ガイドプログラム開発、CSRや市民参加型の環境保全活動の充実などにより、地域が一体となった受入環境の整備を図る。

1 おもてなしの提供
(地域のおもてなし意識の醸成)

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

■ 今後の取組方針

ヨシ焼きや、ツール・ド・おやまや思川ざくらマラソンなど、主に桜づつみを利用（通過）するイベントにおいてもおもてなしを実施し、生井地区及び渡良瀬遊水地のPRを行う。

■ 主要事業

- 生井地区おもてなし事業

2 インバウンド対応の情報提供・情報発信
(多言語・コミュニケーションボート等の活用、情報拠点の設置)

【担当課：総合政策課、渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

■ 今後の取組方針

外国人がバスを使って渡良瀬遊水地を訪問する際に必要な案内板や説明の外国語表記を推進する。

また、JRやレンタサイクル等の公共交通を使って個人で渡良瀬遊水地を訪問するためのわかりやすい案内板を整備する。

併せて、多言語表記のあるパンフレットや多言語対応のホームページを開設することで、世界中に渡良瀬遊水地の魅力を発信する。

■ 主要事業

- 2020年東京オリパラ開催を見据えた小山市インバウンド3カ年計画推進事業
- インバウンド対応型ホームページ開設事業

3 デジタルガイドツール等の活用
(GPS：位置情報、スマホアプリ等)

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

■ 今後の取組方針

VR（仮想現実）やAR（拡張現実）を活用した観光アプリ等を開発し、観光客の体験ツールとして活用するほか、インターネット上に公開し観光地としてのPRに活用する。

■ 主要事業

- デジタルガイドツール活用事業

4 ガイド育成・ガイド協会との連携

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課、生涯学習課】

■ 今後の取組方針

小山市渡良瀬遊水地エコツアーリズムガイド協会においても、定期的にガイドのスキルアップに努めてもらうため、研修プログラムを作成、実施していく。

■ 主要事業

- およま市民大学「渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成コース」

5 再生可能エネルギーの活用

【担当課：環境課】

■ 今後の取組方針

ヨシペレット化の実証実験を行うとともに、ペレットボイラーの入浴施設への導入及びペレットストーブの市立学校への導入を目指す。
また、再生可能エネルギーとしてヨシの有効活用を広くPRする。

■ 主要事業

- 渡良瀬遊水地のヨシのバイオマス利用事業

6 CSRや市民参加型の環境保全活動の充実
(クラウドファンディング等の活用)

【担当課：渡良瀬遊水地ラムサール推進課】

■ 今後の取組方針

渡良瀬遊水地における可能なCSR活動の紹介やPRをすることにより、CSR活動の拠点とする。
市内企業だけでなく、様々な企業にCSR活動としてPRする。
また、クラウドファンディングの活用による資金調達を行う。

■ 主要事業

- 【再掲】渡良瀬遊水地第2調節池外来種除去活動

■ 指標・KPI

指標名	現状値 [H29]	目標値 [H34]	担当課
ツアー参加者数	1,200 人	2,500 人	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
研修・学習で訪れた方の人数	1,600 人	2,100 人	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
生井地区おもてなし事業実施回数	3回	10 回	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
ペレットボイラー・ストーブ等の導入数	0台	8台	環境課
環境保全活動参加者数、CSR活動参加者数	2,800 人	3,800 人	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課

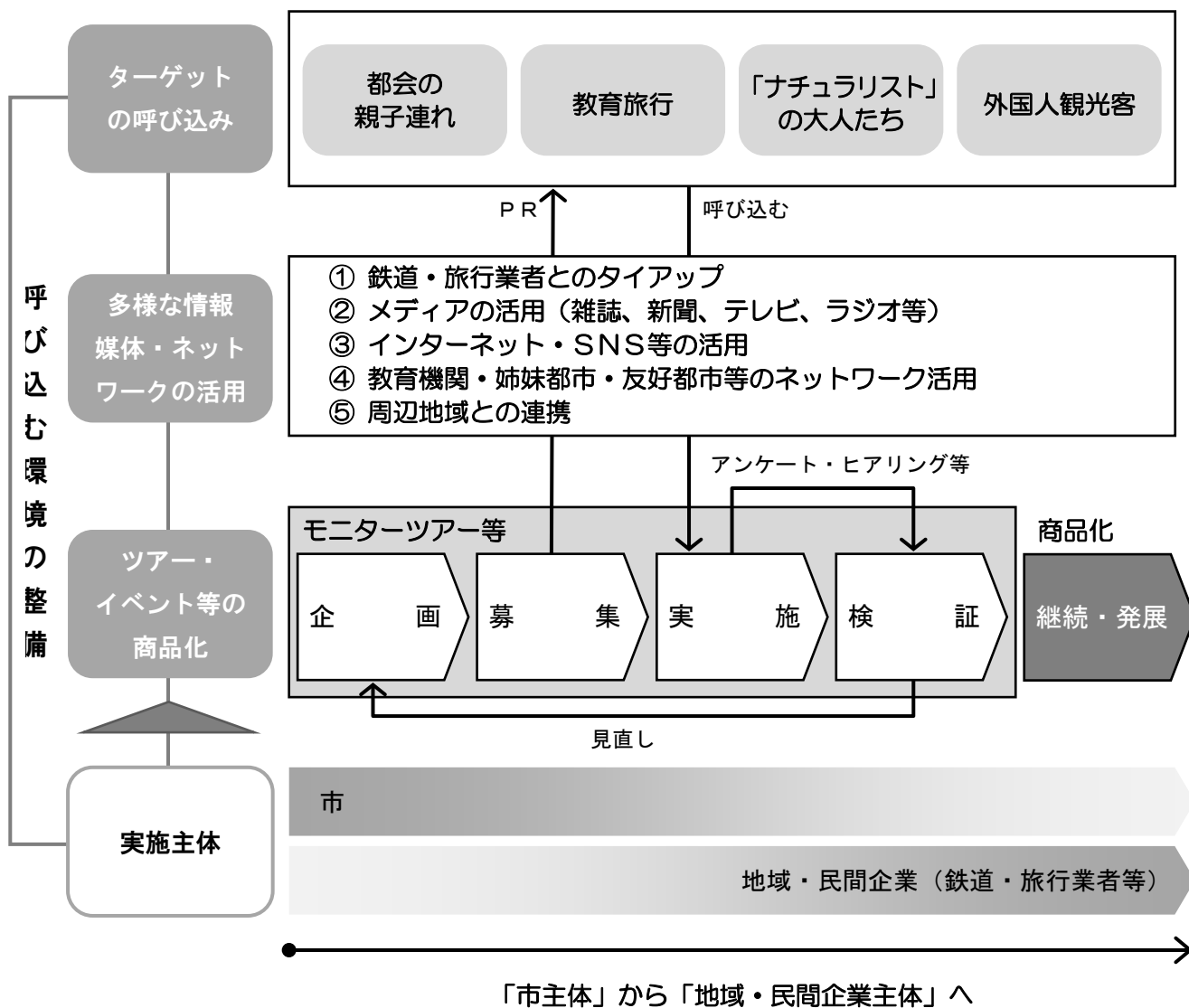
4-2 呼び込む環境整備

1) 呼び込む環境整備の基本的考え方

ターゲットを呼び込むためには、地域や民間企業（鉄道・旅行者等）と連携しつつ、多様な情報媒体・ネットワークを活用しながら、魅力的なツアー・イベント等の商品化を行う必要があります。

また、当面は市が主体となってモニターツアー等を実施しつつ、多様な情報媒体やネットワークを活用したPR活動等により、呼び込む環境の整備に努めますが、段階的に地域や民間企業への移行を図り、将来的には地域や民間企業が自発的に各種ツアーを継続・発展させていくことを目指すことが重要です。

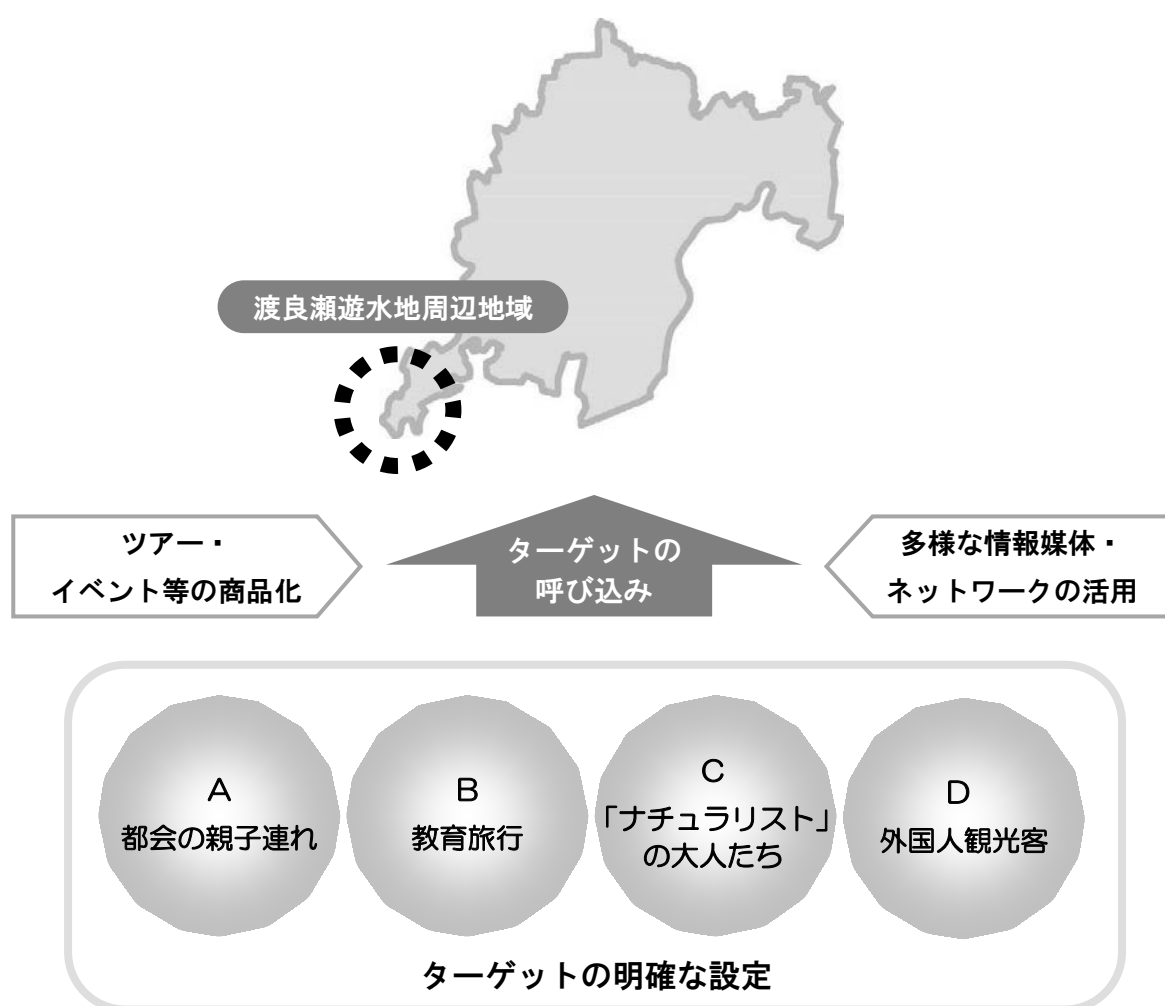
■ 呼び込む環境の整備



2) ターゲットの呼び込み

ターゲットの呼び込みにあたっては、「都会の親子連れ」、「教育旅行」、「「ナチュラリスト」の大人たち」、「外国人観光客」等のターゲットを明確に設定した上で、地域・民間企業（鉄道・旅行者等）等と連携・協力しながら、それぞれのターゲットのニーズに合わせた魅力的なツアー・イベント等を企画するとともに、多様な情報媒体・ネットワークの中から効果的な方法を選択し、着実に渡良瀬遊水地周辺地域に呼び込むことを目指します。

■ ターゲットの呼び込み



3) 多様な情報媒体・ネットワークの活用

1 鉄道・旅行者とのタイアップ

市から鉄道・旅行会社等に魅力的なツアーの企画を売り込み、タイアップすることで、鉄道、バス（観光バス、コミュニティバス）、レンタカー、自転車（シェアサイクル）等を効果的に組み合わせた高品質な各種ツアー（周遊バス、東京駅等発着ツアー等）の提供と、鉄道駅、旅行代理店等でのPRを図る。

[主な取組（例）]

- 東京駅・新宿駅発着の「はとバス」
旅行会社による東京駅・新宿駅発着の「はとバスツアー」等の商品化を行うとともに、旅行代理店や旅行雑誌・パンフレット等でのPRを行う。
- JR往復乗車券とのパック旅行「びゅう商品」
鉄道会社による鉄道の旅（ツアー）等の「びゅう商品」等の商品化を行うとともに、鉄道駅（びゅうプラザ、掲示板等）や、車内誌（トランヴェール等）でのPRを行う。

2 メディアの活用（雑誌、新聞、テレビ、ラジオ等）

市から各種メディアに働きかけ、雑誌や新聞への掲載、テレビやラジオでの紹介など、渡良瀬遊水地周辺のツアーやイベント等を取り上げてもらうことで、ツアー・イベントの参加者や、日常的な来訪者の増加を図る。

[主な取組（例）]

- 旅行雑誌、専門誌等への掲載
旅行会社や出版社等と連携・協力しながら、ツアー・イベント等の内容やターゲットに対応した既存の旅行雑誌や専門誌への掲載を行う。
- 全国紙への掲載
大手新聞社に取材の働きかけを行い、全国紙へのツアー・イベント等の開催案内や紹介を行うとともに、継続的なネットワークを構築する。
- テレビやラジオの全国放送での紹介
テレビ局やラジオ局に取材の働きかけを行い、全国放送や、東京圏の広域放送において、ツアー・イベントの開催案内や紹介を行うとともに、継続的なネットワークを構築する。

③ インターネット・SNS等の活用

市外や海外に効果的に情報を発信するため、民間活力を効果的に導入しながら、最先端の技術を積極的に取り入れたデジタルツールの開発や、専用ホームページ等の開設により、複雑化・分散化しているホームページの一元化を図る。

また、専門サイトへの掲載や、SNSの活用により、デジタルツールや、ツアー・イベントの写真・映像等を公開し、体験的・視覚的に市外や海外への幅広いPRを図る。

さらに、地域おこし協力隊等による積極的なPR活動を展開する。

[主な取組（例）]

○ VR（仮想現実）やAR（拡張現実）を活用した体験型ツールの開発

VR（仮想現実）やAR（拡張現実）を活用した、渡良瀬遊水地の散策・飛行等の疑似体験や、スマホアプリと連動したARカメラなど、体験型ツールの開発を行う。

○ GPS（位置情報）を活用したスマホアプリの開発

GPS（位置情報）やQRコードを活用したスマホアプリ（多言語に対応した観光アプリ、探索型のゲームアプリ等）の開発を行う。

○ 専用ホームページ等の開設（ホームページ、ブログ等）

渡良瀬遊水地の食・宿泊、ツアー・イベント、マップ・パンフレット等の情報の一元化を図るため、専用ホームページ等を開設する。

○ 専門サイトへの掲載

民間（各種協会、連盟等）によるツアー・イベント情報サイトなど、既存の専門サイトに掲載し、ターゲットを絞ったPRと、参加者の募集を行う。

○ SNS（Facebook、Instagram、Twitter、YouTube等）による拡散

専用ホームページ等による情報発信を補完するため、話題性のある写真や動画をSNSに投稿し、若者や海外に幅広くPRする。

4 教育機関・姉妹都市・友好都市等のネットワーク活用

渡良瀬遊水地の自然や、治水・防災の歴史、日光への修学旅行や観光旅行の経由地であることなどを活かし、環境・自然学習や防災・減災教育の一環として都内の小中学生や、外国人を呼び込むため、都内の小中学校（教育委員会）や、姉妹都市・友好都市等に積極的な売り込みを図る。

[主な取組（例）]

○ 環境・自然学習ツアーや防災・減災教育ツアーの誘致

渡良瀬遊水地の自然や、治水・防災の歴史を活かし、都内の小中学生や姉妹都市・友好都市等を対象に、環境・自然学習ツアーや防災・減災教育ツアーの積極的な誘致を図る。

○ 日光への修学旅行・観光旅行の経由地として売り込み

東京から日光に向かう修学旅行・観光旅行の経由地としての立地を活かし、都内の小中学生や外国人観光客等を対象に、教育旅行等の積極的な売り込みを行う。

5 周辺地域との連携

渡良瀬遊水地周辺で、活動する市民団体や自治体等と連携を図りながら、渡良瀬遊水地全体に多くの人を呼び込み、訪れた人が、渡良瀬遊水地周辺を回遊する仕組みを展開する。

[主な取組（例）]

○ 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会による連携

渡良瀬遊水地に関連する自治体、関係機関及び周辺の住民等が参加する「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」との連携を図る。

○ 渡良瀬遊水地の情報発信の一元化（HP等によるイベント告知）

渡良瀬遊水地の専用ホームページ等を活用し、食・宿泊、ツアー・イベントマップ・パンフレット等の市、地域、民間企業による情報発信や、観光客による問い合わせなど、双方向の情報交換の一元化を図る。

4) ツアー・イベント等の商品化

ツアー・イベント等の商品化にあたっては、地域や民間企業（鉄道・旅行者等）と連携しつつ、多様な情報媒体・ネットワークを活用しながら、モニターツアー等の企画、募集、実施に取り組みます。

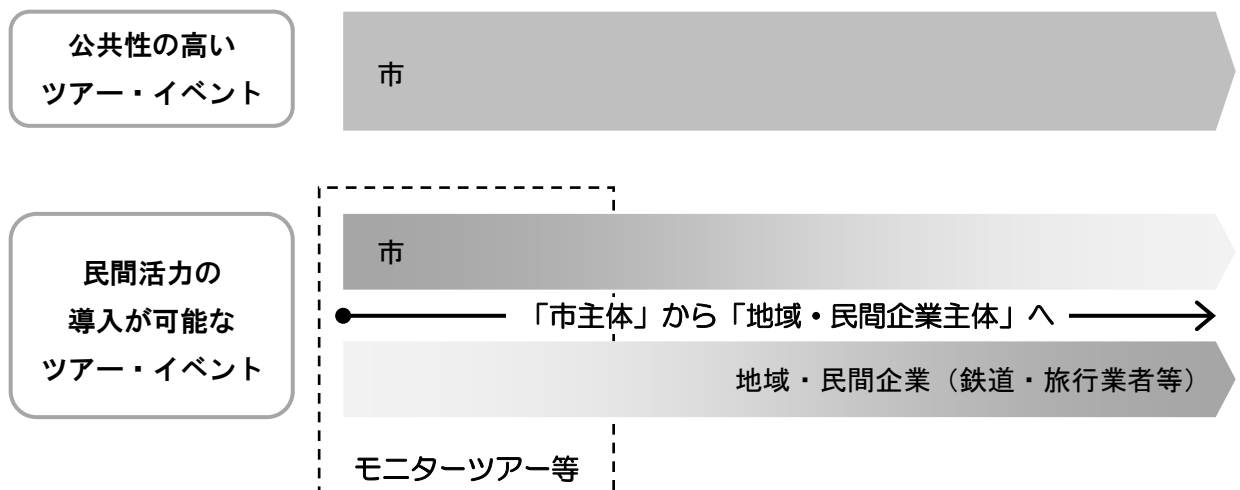
また、参加者や鉄道・旅行会社等へのアンケート・ヒアリング等を実施し、その結果を集計・分析することで、ターゲットの視点でツアー・イベントの企画を検証し、ターゲットのニーズに即したより魅力的かつ高品質なツアー・イベントとなるよう見直しを行っていく必要があります。

5) 実施主体

ツアー・イベントの実施にあたっては、公共性の高いものについては、市が主体となったツアー・イベントを継続していくことを基本とします。

ただし、民間活力の導入が可能なものについては、当面は市が主体となってモニターツアー等を実施しながら、段階的に地域や民間企業への移行を図り、将来的には、地域・民間企業（鉄道・旅行者等）が主体となったツアー・イベントの商品化の拡大を目指します。

■ 実施主体



4-3 ターゲット別アクション例

計画の推進方策や、受入・呼び込み環境の整備等を踏まえ、ターゲット別にアクションを検討した結果は、次のように整理されます。

	A 都会の親子連れ	B 教育旅行	C 「ナチュラリスト」の大人たち	D 外国人観光客	
ターゲット (サブターゲット)	大自然の中で遊びたい都会育ちの子どもたち (付き添いの親・家族)	都内の小中学生や姉妹都市・友好都市の外国人 (都内の日本語学校の生徒)	都会に住む「ナチュラリスト」の大人たち (一緒に来た家族・友人等)	足利、日光等有名観光地を訪れる外国人観光客 (世界大会・全国大会等の応援で訪れる人)	
選定理由	東京に 60km という立地利便性を活かし、都会では体験できない自然ならではの体験・学習を提供することで、子どもを呼び込むとともに、サブターゲットを親とすることで、渡良瀬遊水地へのリピートを図るため。	都内の小中学生や姉妹都市・友好都市の外国人に、渡良瀬遊水地周辺地域の自然や歴史、農村環境等を活用した環境・自然学習や防災・減災教育を提供するため。	様々な趣味があふれかえっている中で、自転車、写真、野鳥観察、トレッキング等の趣味を満喫する大人(子育て前、子育て後世代)を呼び込むため。	栃木ですでに外国人に人気のスポットの途中の立ち寄り地として、交通結節点という強みを生かすとともに、2020 東京オリンピック・パラリンピック等の開催を最大限に活用し、外国人観光客を呼び込むため。	
各視点によるキーワード	来る	○小山駅からバスで移動 ○日の出、夕日、富士山	○小山駅からバスで移動 ○都内や空港からバスで移動	○小山駅からバス又はシェアサイクルで移動	○小山駅・間々田駅・野木駅からシェアサイクルで移動
	見る・体験する (学ぶ・つくる)	○野鳥観察 ○天体観測 ○田植え・稲刈り・虫採り・魚釣り・芝すべり・舟乗り・いちご狩り等の体験 ○田んぼでどろんこ相撲 ○凧揚げ・ヨシ舟・ヨシ小屋づくり ○渡良瀬遊水地の歴史の学習 ○環境保全活動	○自然散策・野鳥観察 ○天体観測 ○田んぼアート等の見学 ○田植え・稲刈り・舟乗り・いちご狩り等の体験 ○ヨシ舟・ヨシ小屋づくり ○渡良瀬遊水地の歴史の学習	○フォトスポットの紹介(撮影会、フォトツアー) ○自然散策・野鳥観察 ○ヨシ焼き見学、ヨシ焼き後の散策 ○サイクリング(持ち込み、レンタル等) ○ジョギング ○気球体験(気球から写真) ○桑の実・杏でジャムづくり体験 ※必要に応じて、競技大会等のイベントを実施	○ヨシ焼き・田んぼアート等の見学 ○田植え・稲刈り・ヨシ刈り・舟乗り・いちご狩り等の体験 ○日の出・日の入の見学 ○天体観測
	食べる・泊まる	○道の駅思川で食事 ○ふゆみずたんぼ米おにぎり ○地元の農・畜・水産物を使ったバーベキュー ○地元食材の試食 ○農泊・民泊の活用や、ヨシ小屋に宿泊 ○テントによる宿泊(親子 or 子どもだけ)	○渡良瀬御膳(おとん、ホンモロコ、ナマズ等食材を入れたもの) ○ふゆみずたんぼ米おにぎり ○地元の農・畜・水産物を使ったバーベキュー ○農泊・民泊の活用	○渡良瀬御膳(おとん、ホンモロコ、ナマズ等食材を入れたもの) ○外来魚を食べる ○地元食材の試食 ○農泊・民泊の活用や、テント、オートキャンプなどニーズに対応した宿泊	○地元の農・畜・水産物を使った「渡良瀬御膳」の提供 ○地元食材の試食 ○農泊・民泊の活用
	買う	○道の駅思川・おやま本場結城紬クラフト館でのお土産・農産物・加工品等の購入	○道の駅思川・おやま本場結城紬クラフト館でのお土産・農産物・加工品等の購入	○道の駅思川・おやま本場結城紬クラフト館でのお土産・農産物・加工品等の購入 ○地元住民の直売「軽トラ市」による食材の提供	○道の駅思川・おやま本場結城紬クラフト館でのお土産・農産物・加工品等の購入
	交流する・PR	○地元の高齢者による各種体験の指導を通じた交流 ○宿泊時の炊き出し等による交流 ○夏休み等の体験学習として募集	○地元の高齢者による各種体験の指導を通じた交流 ○夏休み等の体験学習として募集 ○修学旅行の経由地として売り込み	○YouTube での公開や、SNS(Facebook、Instagram、Twitter 等)への投稿	○各観光地と連携したPR



4-4 季節別観光商品例

ターゲット別アクション例を踏まえ、多様な情報媒体・ネットワークの活用などを念頭に置きながら、季節別に観光商品例を検討した結果は次のように整理されます。
また、イベント、ツアー等の実施にあたっては、地元食材を活用した食事、農泊・民泊を活用した宿泊、地元販売店での土産等の購入を基本とします。

●印：重点アクション

		観光商品例	春	夏	秋	冬
鉄道・旅行者との タイアップ	A 都会の親子連れ	おさかなワイワイ大作戦ツアー（外来魚駆除）	●			
		湿地保全活動といちご狩りツアー				●
		ザリガニ釣り大会		○		
		虫取り・魚釣り・芝すべり・舟乗り等体験ツアー	○	○	○	
		田んぼでどろんこ相撲大会・ふゆみずたんぼ米おにぎりの試食	○			
		凧の制作と凧揚げ大会				○
		渡良瀬遊水地の自然と歴史の体験学習ツアー	○	○	○	
		田んぼアート田植え体験と田舎の農泊・民泊体験ツアー		○		
		田植え・稲刈り体験とふゆみずたんぼ米おにぎりの試食	○		○	
		農業体験と地元の農・畜・水産物を使ったバーベキュー	○	○	○	
		バーベキュー&つばめのねぐら入り見学ツアー		●		
		天体観測と田舎の農泊・宿泊体験ツアー	○	○	○	○
メディアの活用 (雑誌、新聞、テレビ、 ラジオ等)	B 教育旅行	日の出・日の入の見学と田舎の農泊・宿泊体験ツアー	○	○	○	○
		自然散策・野鳥観察と田舎の農泊・民泊体験ツアー	○	○	○	○
		ラムサール条約湿地自然体験ツアー		○		
		ヨシ舟・ヨシ小屋づくり体験ツアー				○
		湿地保全活動といちご狩りツアー				○
		舟乗り・外来魚駆除体験と田舎の農泊・民泊体験ツアー	○	○	○	
		渡良瀬遊水地の自然と歴史の体験学習ツアー	○	○	○	
		田んぼアート田植え体験と田舎の農泊・民泊体験ツアー		●		
		農業体験と地元の農・畜・水産物を使ったバーベキュー	○	○	○	
		天体観測と田舎の農泊・宿泊体験ツアー	○	○	○	○
		ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦				○
		インターネット・ SNS等の活用	C 「ナチュラリスト」の 大人たち	自然散策・野鳥観察と田舎の農泊・民泊体験ツアー	○	○
ラムサール条約湿地自然体験ツアー				○		
ヨシ原散策ツアー	●					
シェアサイクルを活用したヨシ焼き見学ツアー	○					
ツール・ド・おやま（サイクリングイベント）と田舎の農泊・民泊体験ツアー					●	
おやま思川ざくらマラソンと田舎の農泊・民泊体験ツアー	●					
サイクリングでぐるっと学ぶ渡良瀬遊水地の歴史・環境ツアー					●	
渡良瀬遊水地フォトツアー 自然とグルメ（渡良瀬御膳）を上手にとってみよう	○			○	○	●
気球体験と写真撮影コンテスト	○			○	○	○
田んぼアート田植え体験と田舎の農泊・民泊体験ツアー				○		
桑の実・杏でジャムづくり体験ツアー	○			○	○	○
地元農・水産物を活用した「渡良瀬御膳」の提供	○			○	○	○
地元住民の直売「軽トラ市」	○	○	○	○		
田舎の農泊・民泊体験ツアー	○	○	○	○		
オートキャンプと地元の農・畜・水産物を使ったバーベキュー	○	○	○	○		
教育機関・ 姉妹都市・友好都市等の ネットワーク活用	D 外国人観光客	ヨシ焼き見学	●			
		田んぼアートの見学		●		
		田植え・稲刈り体験とふゆみずたんぼ米おにぎりの試食	○		●	
		ヨシ刈りとヨシ舟・ヨシ小屋づくり体験ツアー				○
		湿地保全活動といちご狩りツアー				○
		舟乗り・外来魚駆除体験と田舎の農泊・民泊体験ツアー	○	○	○	
		渡良瀬遊水地の自然と歴史の体験学習ツアー	○	○	○	
		地元農・水産物を活用した「渡良瀬御膳」の提供	○	○	○	○
周辺地域との連携	天体観測と田舎の農泊・宿泊体験ツアー	○	○	○	○	
	日の出・日の入の見学と田舎の農泊・宿泊体験ツアー	○	○	○	○	

渡良瀬遊水地の自然環境や伝統文化、地場産業を季節ごとにまとめた「渡良瀬遊水地周辺地域歳時記」により、エコ・アグリツアーを積極的に推進します。

■ 渡良瀬遊水地周辺地域歳時記



1月

寒川地区の花桶かつぎ



2月

白鳥地区の日の出祭り



3月

ヨシ焼き



4月

生井さくらまつり



5月

おさかなワイワイ大作戦ツアー



6月

田んぼアート田植え体験



7月

おやまサマーフェスティバル



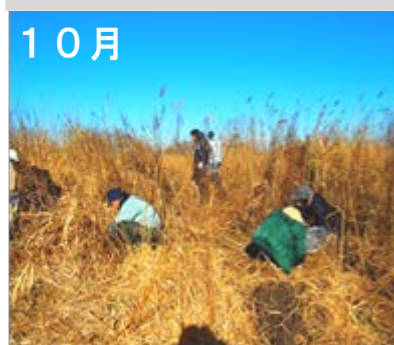
8月

つばめのねぐら入り



9月

田んぼアート稲刈り



10月

ヤナギ・セイタカアワダチソウ
除去作戦(湿地保全活動体験)



11月

ツールドおやま
(サイクリングイベント)



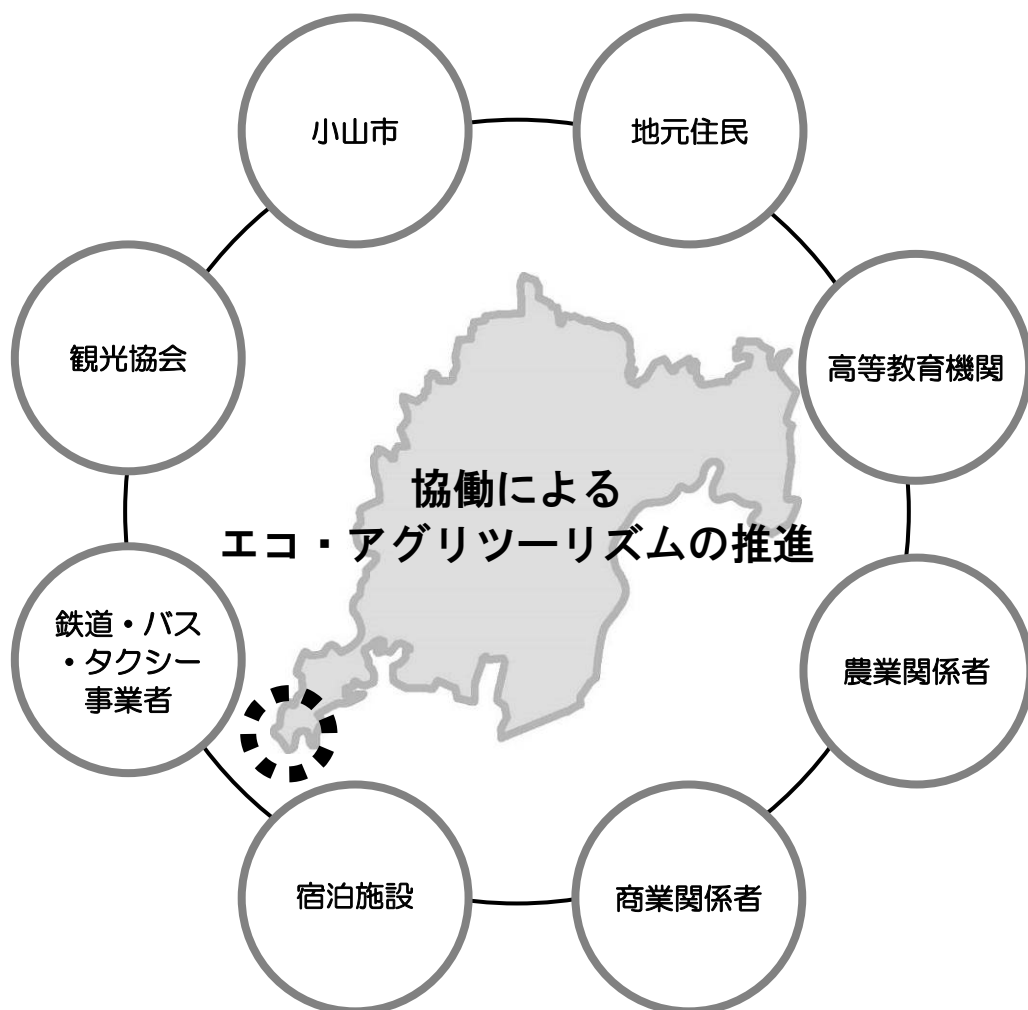
12月

伝統工芸を知る！
ヨシ刈り体験ツアー

4-5 計画の推進体制

計画の推進にあたっては、地元住民をはじめ、高等教育機関、農業関係者、商業関係者、宿泊施設（旅館等）、鉄道・バス・タクシー事業者、観光協会等と連携・協力しながら、民学産官による協働の推進体制を構築し、民間の主体性や活力を引き出しながら、渡良瀬遊水地周辺地域の観光地化に係る施策や事業の具体化に取り組むことが大切です。

■ 計画の推進体制



4-6 周辺地域・広域連携

① 周辺地元住民との連携

飲食、販売、宿泊、体験・学習等の地元のおもてなしの充実にあたっては、地域が一体となった体制の強化や、地域住民が主体となった取組の充実が必要となることから、渡良瀬遊水地周辺地域の地元住民と積極的に連携を図る。

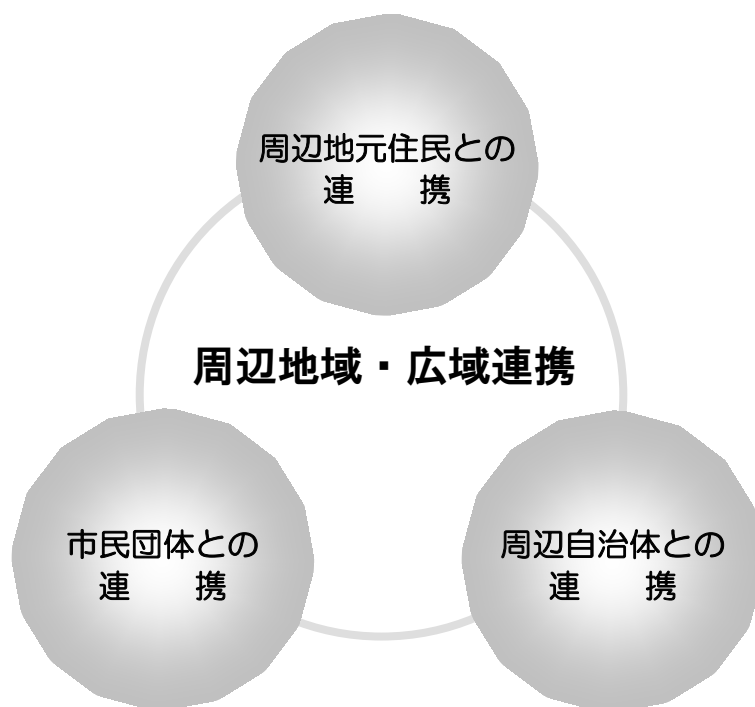
② 市民団体との連携

渡良瀬遊水地周辺地域では、様々な市民団体や専門家等が、エコ・アグリツーリズムに関連する活動や研究・調査等を行っており、情報の共有が必要となることから、これらの市民団体等と綿密に連携を図る。

③ 周辺自治体との連携

渡良瀬遊水地は他市町に跨がった共有の財産であり、効果的に保全・活用していくためには、関連する自治体が一体となった取組が必要となることから、栃木県栃木市、野木町、茨城県古河市、埼玉県加須市、群馬県邑楽郡板倉町等の周辺自治体と連携を図る。

■ 周辺地域・広域連携

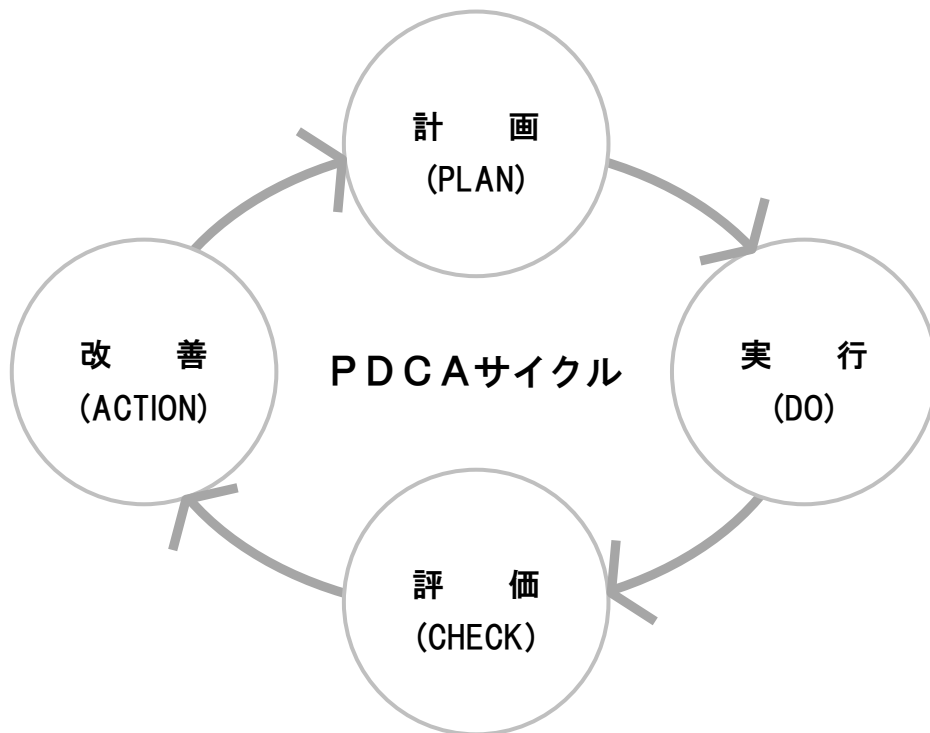


4-7 計画の見直し

本計画は、その計画期間を2018年から2022年の5年間としていますが、より実効性のある計画としていくには、計画期間の途中であっても、渡良瀬遊水地周辺地域の観光を取り巻く社会情勢の変化に対応しつつ、ターゲットのニーズを反映した計画としていく必要があります。

そのため、各種モデル事業の実施状況を勘案しながら、PDCAの観点に基づき、柔軟に計画の検証・見直しを行っていくことが大切です。

■ 計画の見直し



資一 1 主要事業一覧

1 来る

1) ネットワークの形成

事業名 [担当課]	事業概要／スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① アクセスルート及び周辺道路整備						
渡良瀬遊水地周辺地区 道路整備 (市道4505号線) [道路課]	本路線は、渡良瀬遊水地から県道南小林松原線を経由して国道4号、50号へと接続する重要な道路である。整備後30年経過し、舗装も経年劣化している状況であり、渡良瀬遊水地への来訪者の増加、大型車への流入に対応するため、道路改良工事を実施する。					
	整備・完了					
渡良瀬遊水地新アクセス 道路整備調査事業 [道路課]	本路線は、県道萩島・白鳥線と県道南小林・松原線との交差点から渡良瀬遊水地に連絡する道路を整備するための調査を行う。市道の拡幅及び与良川の旧堤を利用し、渡良瀬遊水地の周囲堤にある生井桜づつみ周辺に連絡する道路を設置する。					
	調査	関係機関 協議	調査	設計	用地測量	用地買収
② サイクリングロード・フットパスの整備・活用						
サイクリングロード 整備・活用 [建設政策課、道路課、 渡良瀬遊水地弘サール推進課]	安全で快適な渡良瀬遊水地へのサイクリングネットワーク構築のため、渡良瀬遊水地へ向かう道路に分かりやすい案内看板を設置する。また、思川のサイクリングロードの未舗装箇所について、県へ舗装整備の要望していく。					
	県要望 ・協議	工事(市道) 県要望 ・協議	案内看板設置県要望・協議			
③ 駐輪場・駐車場の確保						
駐輪場・駐車場の確保 [建設政策課、 水と緑の推進課、 渡良瀬遊水地弘サール推進課]	快適なサイクリングが行えるように、公園内にサイクルラックを設置する。また、現在、市が堤防強化のため国へ要望している堤防拡幅により、自家用車を駐車できるスペースを増やすことができることから、継続して要望していく。					
		調査 (サイクルラック)				
④ フラワーロード整備						
フラワーロードの整備 [農村整備課]	計画に基づき地元活動組織により市道4504号線、4505号線の路肩等へアジサイ、ヒガンバナの植栽を実施する。(H28～H31 全体計画延長L=6,820m、植栽実施延長L=6,030m。H32以降は計画を変更し実施予定。)					
	実施	実施 計画変更	実施予定			

事業名 [担当課]	事業概要／スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
⑤ デマンドバス、公共交通の活用（駅等からの二次交通）						
交通手段の整備（コミュニティバスの運行） ・利便性の向上 [都市計画課]	遊水地の関連施設整備スケジュールに合わせた路線バスの整備及びデマンドバスによる生井桜づつみのPR。					
	継続					
レンタカーを利用した旅行客への利用料金補助事業 [商業観光課]	2018年度レンタカーを利用した旅行客へ利用料金補助を実施する。 2019年度以降についても継続的に実施していく。					
	実施	継続				
⑥ レンタサイクル・シェアサイクル活用、サイクルステーション設置						
シェアサイクルを活用した渡良瀬遊水地広域誘客推進事業 [建設政策課、渡良瀬遊水地弘サール推進課]	渡良瀬遊水地の観光地化を図るため、東京圏からJR宇都宮線を利用して訪れる観光客の新たな交通手段として、野木町と連携し、電動アシスト自転車を配置して利用者が任意の施設で自由に返却できるシェアサイクルの運用を行い、観光客の誘客を行う。					
	実施	継続				
⑦ サイン整備（ルート案内板デザイン統一等）						
渡良瀬遊水地ルート案内板設置事業 [渡良瀬遊水地弘サール推進課、道路課]	渡良瀬遊水地第2調節池へ自動車・自転車観光客を誘導するルート案内看板を設置し、また第2調節池を訪れた方に対し遊水地内及び周辺施設を案内する看板も設置して、観光客に分かりやすい案内をしていく。					
	ルート案内 看板設置	周辺案内看板設置				

2) 観光拠点の形成

事業名 [担当課]	事業概要/スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① エコミュージアムの整備						
渡良瀬遊水地 エコミュージアム化事業 [建設政策課]	国土交通省が平成22年3月に策定した「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」に基づき整備される「浅い池」、「深い池」を活用し、そこに園路等を整備して、旧思川等周辺施設の環境改善、整備・活用も含め、東京圏の小中学生や親子連れ、ハイカーなどに自然観察や自然体験の場を提供する「エコミュージアム」として整備する。					
	調査設計 堤防植栽	園路整備 堤防植栽	園路整備 トイレ設置 棧橋整備	施設整備 施設案内看板設置		
② コウノトリ・トキの野生復帰（営巣環境採餌環境の整備）						
コウノトリ・トキ採餌環境整備事業 [渡良瀬遊水地弘ガール推進課]	渡良瀬遊水地第2調節池内では継続して外来魚駆除を実施する他、国土交通省により整備が進められている、人為攪乱型実験地をビオトープとして活用する。また、渡良瀬遊水地内外において放流など生きものを増やす取組を実施する。					
	継続					
なつみずたんぼ振興事業 [農政課]	夏期に、麦刈取後の田等、不作付の田を湛水することにより生物の生息環境を創出し、夏期に飛来する渡り鳥、及びコウノトリ・トキの野生復帰のための生息環境の整備を行う。					
	継続					
環境にやさしい農業推進事業（ふゆみずたんぼ米、生井っ子） [農政課]	冬に田んぼに水を張り、無農薬・無化学肥料栽培の「ふゆみずたんぼ」9ha、「なつみずたんぼ」34ha、減農薬・減化学肥料の特別栽培米「生井っ子」40haのの生産に取り組むとともに、「ふゆみずたんぼ」など安全・安心で、環境負荷の低減を図る環境にやさしい農業を推進している。					
	継続					
③ 旧思川水辺公園の活用						
旧思川水辺公園整備事業 [建設政策課]	渡良瀬遊水地第2調節池に隣接した生井地区に残る6haの水辺空間を活用し、新たな渡良瀬遊水地のシンボルとなるよう整備を行う。 現在の風情や佇まいを残しつつ、両岸に園路を整備し、水辺に季節の花々を植栽して、訪れた人々が四季折々の花々を楽しみ憩える、魅力的な水辺環境を創出する。					
	園路整備 工事	園路整備 藤棚整備	園路整備・植栽 水質改善・船着場整備			

2 見る・体験する（学ぶ・つくる）

1) 自然の再生・景観の形成

事業名 [担当課]	事業概要／スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① 湿地保全活動の推進						
渡良瀬遊水地 第2調節池外来種除去 活動 [渡良瀬遊水地弘サール推進課]	貴重な湿地環境の保全するため、希少植物の生育に悪影響を及ぼすセイタカアワダチソウや乾燥化の要因となるヤナギの除去活動を実施。また、環境学習フィールド3の池において、外来魚の駆除活動も実施。					
	実施					
渡良瀬遊水地 第2調節池動植物生息 調査 [渡良瀬遊水地弘サール推進課]	渡良瀬遊水地第2調節池外来魚駆除活動の効果測定とともに、最適な実施方法を検討する他、動植物の生息環境の経年変化を調査する。					
	継続					
【再掲】 なつみずたんぼ振興事業 [農政課]	夏期に、麦刈取後の田等、不作付の田を湛水することにより生物の生息環境を創出し、夏期に飛来する渡り鳥、及びコウノトリ・トキの野生復帰のための生息環境の整備を行う。					
	継続					
② ビューポイント整備（絶景・展望ポイントづくり）						
渡良瀬遊水地第2調節池 フォトコンテスト [渡良瀬遊水地弘サール推進課]	渡良瀬遊水地第2調節池を題材に、四季折々の風景や動植物、イベント等の写真を募集し、フォトコンテストを実施。					
	継続					
たんぼアート事業 [農村整備課]	たんぼを大きなキャンパスに見立て、色彩の異なる稲を植えて画を描き、田植えや稲刈り等の農業体験により農業や環境への関心を高め、第2調節池周辺の持つ自然、生活文化、歴史といった資源の価値を活用し、多くの人を呼び込む。					
	実施					

2) アクティビティの充実

事業名 [担当課]	事業概要/スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① エコツーリズムの推進（ガイドツアー、周遊コース等）						
小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会との連携 [渡良瀬遊水地弘サル推進課]	市内小中学生や見学者、外国人観光客への渡良瀬遊水地及び周辺地域のガイドを行う。自主事業として、エコツアー等イベントの開催。市主催イベントでの渡良瀬遊水地のPR活動。					
	調整			実施		
② トレッキング・バードウォッチング						
バードウォッチング [渡良瀬遊水地弘サル推進課]	つばめのねぐら入り観察会の実施、チュウヒの飛び立ち観察会の実施、フェノロジーカンレダー等によるPR活動。					
				実施		
③ サイクリング・ツーリング						
サイクリングマップの配布 ・他の地域のサイクリングルートからの案内 [渡良瀬遊水地弘サル推進課]	サイクリングマップの配布を実施する。 また、マップデータをWeb上でダウンロードできるようにする。 他のサイクリングルートからのアクセス情報を掲載し、人を呼び込む→イベントに合わせたスポーツ自転車愛好家をターゲットとする。					
		PR	見直し	実施		
④ 遊び場の創出						
ボート等による水遊び [渡良瀬遊水地弘サル推進課]	ボート、ヨシ舟等を活用し体験乗船を実施していく。 また、環境学習と一体となった体験型のプログラムを実施していく。					
				実施		
⑤ 伝統文化体験や農業体験						
食農体験バスツアー [農政課]	平成30年2月に、東京圏の方々を対象に、トマト・イチゴの収穫体験、渡良瀬遊水地見学、ふゆみずたんぼ米を使った昼食、道の駅思川でのお買い物のツアーを実施。					
				継続実施		

事業名 [担当課]	事業概要／スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
⑥ 生産体験プログラムの提供（米・野菜等収穫体験等）						
【再掲】 田んぼアート事業 [農村整備課]	田んぼを大きなキャンパスに見立て、色彩の異なる稲を植えて画を描き、田植えや稲刈り等の農業体験により農業や環境への関心を高め、第2調節池周辺の持つ自然、生活文化、歴史といった資源の価値を活用し、多くの人を呼び込む。					
	実施					
ふゆみずたんぼオーナー制度 [農政課]	「ふゆみずたんぼ」でオーナー制を導入し、田植・除草・生き物調査・稲刈収穫体験等を通じ、都市住民との交流を深め地域の活性化に結び付ける。					
	継続					
市民農園体験 [農政課]	『道の駅思川』南側に整備した小山市市民農園において、体験プログラムの充実を図り、多くの人を呼び込む。					
	継続					

3) 学習環境の充実

事業名 [担当課]	事業概要／スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① 環境学習の場の提供						
環境学習ブックの活用 [渡良瀬遊水地弘サール推進課]	都会の子どもたちをターゲットとし、現在市内で使用している教材や、渡良瀬遊水地地利活用協議会等で作成する教材を活用しながら、環境学習の場を提供する。					
	誘致活動・実施			継続実施		
② 小口一郎記念館						
小口一郎記念館整備事業 [文化振興課]	渡良瀬遊水地の歴史に関する理解を深め、郷土の芸術家の作品にふれる環境を整備する。					
	調整	場所の選定・検討				
③ 昆虫標本の活用						
昆虫標本の活用 [博物館]	交流施設等拠点施設内に昆虫標本を展示するため、他の施設の進捗状況を見極めながら、事業を実施していく。					
	継続					

3 食べる・泊まる

1) 食・泊場所の充実

事業名 [担当課]	事業概要/スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① ラムサールふゆみずたんぼ米・生井っ子の生産・PR						
【再掲】 環境にやさしい農業推進 事業（ふゆみずたんぼ米、 生井っ子） [農政課]	冬に田んぼに水を張り、無農薬・無化学肥料栽培の「ふゆみずたんぼ」9ha、「なつみずたんぼ」34ha、減農薬・減化学肥料の特別栽培米「生井っ子」40haの生産に取り組むとともに、「ふゆみずたんぼ」など安全・安心で、環境負荷の低減を図る環境にやさしい農業を推進している。					
	継続					
② ラムサールホンモロコ・ナマズの養殖						
「ふゆみずたんぼ」生き 物増殖事業 [農政課]	生物多様性に配慮した「環境にやさしい農業」の一環として「ふゆみずたんぼ米」栽培を展開している農家が、たんぼを活用した養殖池による川魚の「ホンモロコ」、「ナマズ」養殖を組み合わせ、農家所得の経営安定を図る。					
	継続					
ラムサールホンモロコ・ ナマズ養殖施設整備事業 [農政課]	ラムサールホンモロコ・ナマズ養殖事業は、地域の特産品としてブランド化を目指している。安定した出荷のためには、更なる増産や加工施設の整備、専門家による養殖技術指導による技術の向上などが必要とされており、これらの施策を推進することで生産強化と普及促進を目指す。					
	継続					
③ おやまブランド・郷土料理の提供						
【再掲】 環境にやさしい農業推進 事業（ふゆみずたんぼ米、 生井っ子） [農政課]	冬に田んぼに水を張り、無農薬・無化学肥料栽培の「ふゆみずたんぼ」9ha、「なつみずたんぼ」34ha、減農薬・減化学肥料の特別栽培米「生井っ子」40haの生産に取り組むとともに、「ふゆみずたんぼ」など安全・安心で、環境負荷の低減を図る環境にやさしい農業を推進している。					
	継続					
拠点施設の整備（情報発信・ 地域交流の場の創出） [農政課、 渡良瀬遊水地弘サール推進課]	地域の郷土料理を提供する場として、また、渡良瀬遊水地の情報を発信するための場として、拠点施設を整備していく。					
	場所の選定・検討					

事業名 [担当課]	事業概要／スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
④ 農泊・民泊（空き家の活用）等の多様な宿泊環境の充実						
農泊の導入 [農政課]	渡良瀬遊水地を含め、本場結城紬や観光農園など小山市の観光資源を活かして農泊事業を推進していく。					
	継続					
空き家を活用した民泊の 推進 [建築指導課]	平成30年6月施行の民泊新法（住宅宿泊事業法）を踏まえ、空き家等を活用した民泊推進5ヵ年計画を策定・実施する。					
	検討	調査 計画策定	計画推進			

4 買う

1) 特産品の商品化

事業名 [担当課]	事業概要/スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① ヨシ活用製品の商品化						
ヨシ紙商品化事業 [商業観光課]	渡良瀬遊水地で刈り取ったヨシ紙を商品化し、ヨシの有効活用を図り地場産業の促進に努める。					
	継続	活用	継続	活用	継続	活用
ヨシズ設置事業 [教育総務課]	夏季の猛暑対策及びエアコン使用による節電対策として、日光を遮り、風を通し室温を下げる効果のあるヨシズを市内全学校に設置するものである。平成26～28年度の3カ年で普通教室への設置が完了しているため、今後も継続して夏季の設置を呼びかける。					
	継続					
② 桑の葉・実及び繭を使用した土産物の販売						
「桑・蚕・繭・紬・和装・和食」地域資源で紡ぐ「日本の伝統を生かした総活躍のまち」づくり事業 [渡良瀬遊水地ラムサール推進課、商業観光課]	桑の葉、実、繭を使った土産物の商品開発を継続的に実施していく。PR活動の実施。					
	商品開発の継続		PR活動			
③ 商品開発・販売環境の充実						
生井地区ラムサール資源を活用した交流促進協議会事業 [渡良瀬遊水地ラムサール推進課]	渡良瀬遊水地周辺で実施される各種イベント時に物販ブース等地元住民が中心となり、出店し、おもてなしを図る。販売物については、地元の野菜や、加工品等を中心に検討する。					
	継続					

5 交流する・PR

1) 交流・イベントの充実

事業名 [担当課]	事業概要／スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① 自然学習研修・体験・交流施設の整備検討						
渡良瀬遊水地体験交流施設整備事業 [農政課]	施設の場所について、未利用地等検討していく。					
	継続					
② 季節・年間の各種イベント充実（ヨシ焼き、思川桜、田んぼアート、ふゆみずたんぼオーナー制、ツール・ド・おやま、おやま思川ざくらマラソン等）						
【再掲】 田んぼアート事業 [農村整備課]	田んぼを大きなキャンパスに見立て、色彩の異なる稲を植えて画を描き、田植えや稲刈り等の農業体験により農業や環境への関心を高め、第2調節池周辺の持つ自然、生活文化、歴史といった資源の価値を活用し、多くの人を呼び込む。					
	実施					
【再掲】 ふゆみずたんぼオーナー制度 [農政課]	「ふゆみずたんぼ」でオーナー制を導入し、田植・除草・生き物調査・稲刈収穫体験等を通じ、都市住民との交流を深め地域の活性化に結び付ける。					
	継続					
ツール・ド・おやま [生涯スポーツ課]	タイムや順位を競うレースではなく、自転車を活用して小山市や野木町の自然と景観を楽しむことを目的に、安全安心なまちづくりと、サイクルスポーツ・ツーリズムの普及への取組を全国に向けて発信しようとする。					
	開催					
おやま思川ざくらマラソン大会 [生涯スポーツ課]	市民をはじめ市内外のマラソン愛好家を一堂に会した大会を開催することにより、小山市のスポーツ振興と「市民一人1スポーツ」の定着を図る。 ※コース内容（小山総合公園・思川桜並木堤防・渡良瀬遊水地・間々田地区周辺）					
	開催					
③ 周辺市町の観光拠点との交流・ネットワーク						
渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の活用 [渡良瀬遊水地リサル推進課]	4市2町の観光拠点との交流ネットワークを図るために、現在進めている渡良瀬遊水地保全・利活用協議会での交流やネットワークの強化を調整し、渡良瀬遊水地全体の利活用について検討する。					
	推進					

2) PR・情報の発信

事業名 [担当課]	事業概要/スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① PR活動の展開（イベント開催、姉妹都市・民間企業等とのタイアップ等）						
ラムサール条約湿地 「渡良瀬遊水地」登録記念シンポジウム [渡良瀬遊水地ラムサール推進課]	ラムサール条約湿地登録を記念し、市の取組を広くPRするために実施する。2019年度は市制65周年記念とあわせて、また、2022年度はラムサール条約湿地登録10周年として開催する。					
	5周年記念		7周年記念			10周年記念
エコライフフェア、ジャパンボードフェスティバル等、主要イベントでのPR活動 [渡良瀬遊水地ラムサール推進課]	渡良瀬遊水地の魅力を発信するために、首都圏等で開催される主要なイベントへ出展し、PR活動を実施する。					
	継続					
教育旅行の誘致活動 [渡良瀬遊水地ラムサール推進課、総合政策課]	都内の小中学校や外国人（姉妹都市等）への積極的なPR・誘致活動を展開する。					
	継続					
② インターネット等多様な情報媒体の活用（HP、SNS等）						
多様な情報媒体（HP、SNS等）を活用した効果的な情報発信 [秘書広報課、渡良瀬遊水地ラムサール推進課]	小山市公式ホームページ、SNS（Facebook、Instagram、Twitter）を活用して、写真はもとより動画などの魅力的なコンテンツを効果的に情報発信することにより、渡良瀬遊水地の認知率を向上させる。					
	継続					
③ DC（デスティネーションキャンペーン）の活用						
デスティネーションキャンペーン事業 [商業観光課]	栃木県が主体となり、JRグループと協働で行われる全国規模の大型観光キャンペーン。平成29年度から平成31年度までの3カ年実施。					
	企画・実施	継続				

6 受入環境整備

事業名 [担当課]	事業概要／スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
① おもてなしの提供（地域のおもてなし意識の醸成）						
生井地区おもてなし事業 [渡良瀬遊水地弘サール推進課]	桜づつみ周辺において開催されるイベントに際し、小山市生井地区ラムサール資源を活用した交流促進協議会におけるおもてなしを実施し、生井地区及び渡良瀬遊水地のPRを行う。					
	継続					
② インバウンド対応の情報提供・情報発信 （多言語・コミュニケーションポート等の活用、情報拠点の設置）						
2020年東京オリパラ開催を見据えた小山市インバウンド3ヵ年計画推進事業 [総合政策課]	小山市への外国人観光客誘致を推進する事業。					
	計画策定	計画実施	計画推進	オリパラ 実施後 計画検討	ポスト オリパラ 計画策定	新計画実施
インバウンド対応型ホームページ開設事業 [渡良瀬遊水地弘サール推進課、総合政策課]	インバウンド担当部署と連携しながら、多言語対応のホームページを開設する。渡良瀬遊水地の概要から、ターゲット別のおすすめ周遊ルートを公開。SNS等も利用し、世界中に情報を発信する。					
	検討		整備	充実・展開		
③ デジタルガイドツール等の活用（GPS：位置情報、スマホアプリ等）						
デジタルガイドツール活用事業 [渡良瀬遊水地弘サール推進課]	VR（仮想現実）やAR（拡張現実）を活用した観光アプリ等を開発し、観光客の体験ツールとして活用するほか、インターネット上に公開し観光地としてのPRに活用する。					
	検討・開発等				導入	
④ ガイド育成・ガイド協会との連携						
おやま市民大学「渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成コース」 [生涯学習課、渡良瀬遊水地弘サール推進課]	卒業後のボランティア活動状況により実施の検討をする。平成29年度に設立された小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会と連携しながら、プログラム等検討する。					
	実施	検証作業			実施	

事業名 [担当課]	事業概要/スケジュール					
	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度	2021年度	2022年度
⑤ 再生可能エネルギーの活用						
[再掲] 渡良瀬遊水地のヨシの バイオマス利用事業 [環境課]	ラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」に自生するヨシをバイオマス燃料としてペレットストーブ等で熱利用することにより、市内外に環境保全・生物多様性保全施策を推進していることをPRする。					
	関係機関との協議	実証実験	機器導入	未定		
⑥ CSRや市民参加型の環境保全活動の充実（クラウドファンディング等の活用）						
渡良瀬遊水地第2調節池 外来種除去活動 [渡良瀬遊水地ラムサール推進課]	貴重な湿地環境の保全するため、希少植物の生育に悪影響を及ぼすセイタカアワダチソウや乾燥化の要因となるヤナギの除去活動を実施。また、環境学習フィールド3の池において、外来魚の駆除活動も実施。その他、CSRの活動拠点としてのPRを行う。					
	実施					

資－２ 上位計画・関連計画

本計画の上位計画・関連計画は、次のように整理される。

① 第7次小山市総合計画

■ 策定年月	平成28年3月
■ 計画の目的	2014（平成26）年3月に策定した「第2次小山市長期ビジョン」を長期的市政運営の基本とし、2020（平成32）年を目標に、「豊かで活力があり、暮らしやすい小山」を実現するための指針となる総合的な計画として策定している。
■ 将来都市像	「夢・魅力いっぱい 未来へつなぐー みんなの笑顔と元気で明日の小山創生ー」
■ 新しい人の流れ創出プロジェクト	<p>重点プロジェクトの一つとして「新しい人の流れ創出プロジェクト」を位置づけ、移住・定住の促進を図るとしている。</p> <p>○ 新しい人の流れ創出プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者や女性、子育て世代に住みたい・住み続けたいまちとして選ばれるよう、小山の知名度・イメージアップを図るほか、小山暮らしをサポートするため、転入者の住宅取得支援や空き家バンク制度等による移住・定住を促進する。 <p>基本計画編において本計画に係る基本方針等を次のように示している。</p> <p>●基本方針（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜渡良瀬遊水地をはじめとする自然環境の保全・活用＞ <ul style="list-style-type: none"> ・「渡良瀬遊水地関連振興5箇年計画」に基づく渡良瀬遊水地の賢明な活用 ＜恵まれた立地条件を最大限に生かした活力と魅力にあふれた産業・地域振興＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ラムサール条約湿地登録「渡良瀬遊水地」等を活用した観光ルートの形成 ・おやまブランドの地場産品のさらなる活用等による観光振興 ＜田園環境の保全と農業の活性化＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ホンモロコなど安全・安心で環境にやさしい農業の推進 <p>●個別施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○渡良瀬遊水地の賢明な活用推進【旧思川水辺公園整備事業】 ○環境にやさしい農業を中心とした地場産品の推進 <ul style="list-style-type: none"> 【ラムサールホンモロコを活用した新商品開発・販路拡大】 ○渡良瀬遊水地の活用【渡良瀬遊水地エコミュージアム化事業】 ○食の創生・発信支援【桑の実プロジェクト事業】 ○おやまブランド品の活用【おやまブランド全国発信事業】 ○インバウンド等による観光誘客の推進【インバウンドによる誘客推進】 ○農畜産物の安全・安心対策の推進【環境創造型農業推進事業】

② 小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略

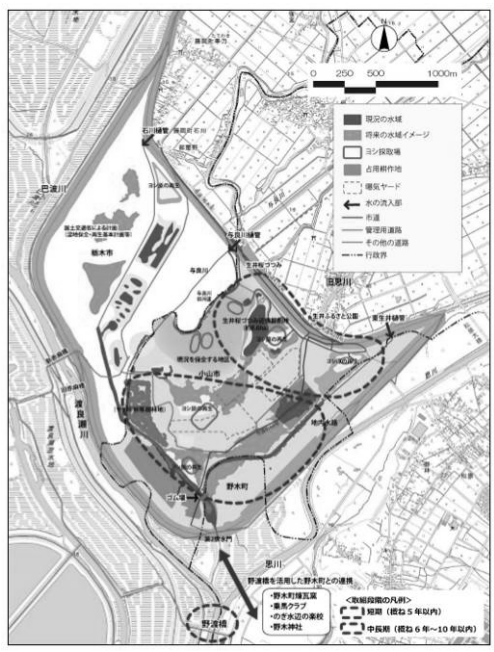
<p>■ 策定年月</p>	<p>平成 27 年 10 月</p>
<p>■ 計画の目的</p>	
<p>国・県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と連動し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持するため、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間の計画期間として、本市のまち・ひと・しごと創生に関する施策について、本市の実情に応じて定める基本的な計画である。</p>	
<p>■ 計画の位置づけ</p>	
<p>■ 基本理念・基本目標</p>	
<p>○基本理念</p> <div style="text-align: center;"> <p>本総合戦略の基本理念</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">ひとを創る</p> <p style="text-align: center;">小山の次代を担う心豊かな ひとづくり</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">まちを創る</p> <p style="text-align: center;">市民の安全で快適な生活を 支える住みたい・住み続け たいまちづくり</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">暮らしを創る</p> <p style="text-align: center;">豊かな人のつながりと健康 で生きがいのある安全・ 安心な暮らしづくり</p> </div> </div> </div> <p>○基本目標： 1. 産業の振興による新たな雇用の創出 2. 新しい人の流れの創出 3. 結婚・出産・子育ての希望の実現 4. 持続可能な地域づくり</p>	
<p>■ 本計画に係る主な取組・具体的事業</p>	
<p>○おやまブランドの創生・発信【基本目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑の実プロジェクト事業 <p>○農商工連携による産業の創出・6次産業化の推進【基本目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小山の農畜産物を使用したアグリビジネス創出の支援 <p>○渡良瀬遊水地の観光地化【基本目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡良瀬遊水地エコミュージアム化事業、旧思川水辺公園整備事業、ホンモロコを活用した新商品開発・販路拡大 <p>○インバウンド等による観光誘客の推進【基本目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドによる誘客推進 	

③ 小山市都市計画マスタープラン

<p>■ 策定年月</p>	<p>平成 17 年 1 月</p>
<p>■ 計画の目的</p> <p>小山市らしい都市の将来像とまちづくりの目標を明確にし、21 世紀の幕明けにふさわしい都市計画に関する基本的な方針について定めるもの。</p>	
<p>■ 将来都市像と基本目標</p> <p>○将来都市像：「緑 陽 優 美 ・ ふれあい あんしん都市 おやま」</p> <p>○基本目標：1. 快適…住みやすく快適・便利な都市基盤の整備 2. 環境・共生…豊かな自然や歴史を活かした環境共生型の都市構造の構築 3. 安全・安心…安全で安心して暮らせる都市環境の形成 4. 活力・産業…活力ある自立的・発展的な都市機能の充実 5. 美観…魅力的で美しい都市景観の創出 6. 地域…地域特性を活かした特色ある地域環境の整備</p>	
<p>■ 本計画に係る各種方針</p> <p>○土地利用の配置方針では、本計画が立地する市街化調整区域においては、市街化を抑制しながら、農村集落における生活環境の向上を図りつつ、都市に近接する貴重な田園・緑地空間として、農業生産と田園・緑地景観の保全を図る。</p> <p>○都市景観形成の方針では、思川緑地や平地林の緑を保全するとともに、河川や公園、農地等と一体となり、緑の連続性やまとまりがある緑地景観を創出するとあり、旧思川等における水辺空間と一体となった緑と潤いある景観形成を図る。</p> <p>○本計画地が立地する生井地域の地域整備方針においては、自然環境や周辺の田園環境との調和に配慮した土地利用を図るとともに、旧思川における歴史文化の拠点整備や水と緑の自然景観の創出等が位置づけられている。</p>	
<p>■ 生井地域まちづくり整備方針図</p> <p>□ 生井地域まちづくり整備方針図</p> <p>□ 地域の主な断面構成と方針</p> <p>□ その他の方針</p>	

④ 渡良瀬遊水地第2調節池エコミュージアム基本計画

■ 策定年月	平成27年3月
■ 計画の目的	「渡良瀬遊水地関連振興5箇年計画」に基づき推進する「治水機能確保を最優先としたエコミュージアム化」を一層推進するため、「渡良瀬遊水地第2調節池エコミュージアム基本計画策定懇話会」を設置し、この懇話会における意見を集約し、計画実現に向けて国土交通省にお願いするものである。
■ 目標像	○目標1：豊かな自然があった頃の原風景の再現 ○目標2：みんなが集い、学ぶ、自然観察・自然体験の拠点
■ 基本計画の全体像・基本計画図・取組イメージ	



資-3 ワークショップ結果

平成 29 年 12 月 2 日（土）に「(仮称) 渡良瀬遊水地観光地化推進計画ワークショップ」を開催し、ワールドカフェ方式で 4 つのテーマごとに地元住民や専門家及び小山市観光協会の意見やアイデアをとりまとめました。その結果概要は次のとおりです。

■ 開催日時

- ・平成 29 年 12 月 2 日（土） 13 : 30～16 : 00

■ 開催場所

- ・小山市役所本庁舎 3 階大会議室北

■ 参加者

- ・計 20 名

No	氏名	備考	No	氏名	備考
1	青木 章彦	ファシリテーター	11	小林 正典	一般
2	浅野 正富	ファシリテーター	12	齋藤 晴夫	一般
3	秋葉 直樹	一般	13	椎名 麻衣	一般
4	猪野 幸男	一般	14	篠原 正	一般
5	海老沼 和彦	一般	15	高橋 誠	一般
6	岡泉 統一	一般	16	鶴見 弘一	一般
7	川崎 康雄	一般	17	平田 政吉	一般
8	楠 通昭	一般	18	堀越 隆浩	一般
9	工藤 東二	一般	19	丸山 邦彦	一般
10	光野 泰司	一般	20	門馬 悠一	一般

(順不同・敬称省略)

■ 実施方法

- ・ 4 グループに分かれ、意見交換を行う。
- ・ 各グループの意見交換の時間は 25 分間とし、終了後、参加者はグループを移動する。
- ・ グループごとにテーマが設定されており、参加者は、1 時間ですべてのグループを回る。

■ テーマ・キーワード

グループ	テーマ	キーワード
グループA	来る・見る	ネットワークの形成 観光拠点の形成 自然の再生・景観の形成
グループB	体験する・学ぶ・つくる	アクティビティの充実 学習環境の充実 生産・加工の拡大
グループC	食べる・泊まる・買う	食・泊場所の充実 物販の拠点・販路の充実
グループD	交流する・PR	交流・イベントの充実 PR・情報の発信

■ 主な意見・アイデア

※番号は、グループを移動した順番を示すもの

[①：1回目の意見、②：2回目の意見、③：3回目の意見、④：4回目の意見]

【グループA】来る・見る

意見・アイデア	
違った文化を見てもらうには東京と近過ぎる	①
稲作はどこでもやっている 特産物など、来る人の非日常であることが大事	①
地元では当たり前環境なので、騒がれるのが不思議	①
旧思川の姿、昔の佇まいが残っている 地元では見慣れていても不思議な世界	①
きちんと説明を受ければなるほどと思える水塚、揚げ舟など、非常に珍しいもの	①
生活している人自らが作るツアーが重要 飯能の事例は、住民が企画し、採算性も考慮されたパッケージになっている	①
地元が地元の魅力を理解した上でないとツアーは無理	①
体験型、学習型のツアーを目指す、提案していく	①
学校ではなく、自然塾	①
親子で自転車に乗ったツアー レンタサイクルで横断できないか	②
ヨシ原を歩こうツアー	②

意見・アイデア	
桑の実を摘むツアー、お花見を兼ねて春から初夏	②
巴波川沿いの菜の花を見るツアー、からし菜つみも	②
公害原点ツアー	②
洪水歴史ツアー	②
渡良瀬遊水地や旧思川でヨシ舟体験ツアー、乗船ツアー	②
日の出、チュウヒ、富士山をつなげたツアー	②
春の植物観察、自転車ツアーを組み合わせる	②
トネハナヤスリ、サクラソウ、ノウルシ、植物観察ツアー	②
ウォーキングマップ、サイクリングマップが必要	②
ヨシ焼き直後のヨシ原横断徒歩ツアー	②
道の駅思川から遊水地会の案内版を充実させる（今は無いので、道に迷う）	③
小山駅前に遊水地の案内看板を設ける	③
デマンドバスの活用、今は事前登録が必要だが、5名以上とかであれば事前登録なしでも利用できるようにする。野木駅、間々田駅でも可能にする	③
野木駅を拠点に小山市と野木町が共同で野木駅から桜堤の循環バスを走らせる	③
小山、間々田、野木の連携	③
国道4号、50号に遊水地の案内看板が全くないので、もっと増やす	③
民泊して早朝あるいは前日の夕方の散歩ができるツアー	③
谷中湖一周のサイクリングができないのが残念	③
サイクリングコースの途中で屋根のある休憩所を	③
空き家を利用して宿泊施設を	③
気球体験ツアー	③
自然が魅力なので、自然を活かす	④
遊水地にどうやって行くのか案内板が不十分	④
小山、野木が連携し、桜堤やレンガ窯、野木駅を循環するバス	④
遊水地の四季折々のイベントをつなげるプログラム	④
排水基準整備の時に観光拠点(展望台)に設けられないか？	④
治水のためのツアーがあっても良い	④
ガイドの待機場所を設けて、当日現場に行ったらすぐにガイドしてもらえるように	④
ツアーを催行するときの地元の負担が不安	④
ツアーをやって地元になんか恩恵があるのか？	④
ツアーを催行することで雇用が生まれることが必要	④

【グループB】体験する・学ぶ・つくる

意見・アイデア				
自転車・バイク	自転車で遊水地横断	①	バイク（自転車）シェアリング	①
	自転車での土手くんだり	①	バイクシェア	①
	ロードバイクのレース（アマチュア）	①	砂利道のバイク走行	①
	自転車4WDを使った秘境地ツアー	①	バイクツーリング	①
	4WD車での遊水地内探検	①	電動アシスト車	②
スポーツ	スポーツ駅伝大会競争（子ども・親）			①
	歩く→健康			②
	トレイルランニング			②
空	飛行機（グライダー）とばし	①	熱気球ツアー	①
	飛行機とばし	①	熱気球	①
	ドローン	①	ラジコン	①
	ヘリコプターツアー	④		
どろんこ	広い砂場（下生井）	②	隣の田んぼではどろんこ相撲	③
	どろんこバレーボール	②	どろんこレース！	③
	ガタリンピック	②	広場	②
	ドッグラン等ペットを集めるイベント			②
	買った人は来年のYouTube 動画の主演に！			③
遊び	秘密基地づくり	①	探検ごっこ	①
	秘密基地を作ろう	③	チャンバラごっこ	①
	たこ上げ	①	ヨシのやり投げ	①
	たこ上げ	①		
季節 風景	風景写生大会	①	春の花観察ツアー	④
	写生（絵描き）	①	（サクラソウ、トネハナヤスリ）	
	四季	④		
冬	流れ星	②	冬の満喫ツアー、チュウヒ、富士山、日の出	④
	寒さ体験	②	サンセットカフェ	③
	冬の雷、松原橋	②	冬の富士山	③
	星の観察	②	朝霧	③
芝	雪が降った時そりあそび	①	しばすべり	①
	芝すべり	①	土手を転がり落ちる	③
	芝すべり	①		
魚	魚とり	①	カイゴシ（カイボリ）魚取り	①
	魚つり	①	魚つり外来魚	②

意見・アイデア				
田んぼ	イネの株でぶつけっこ	②	ふゆみず田んぼ	③
	田んぼで遊ぶ	②	田んぼアート	④
	なまいつこの田植え	③		
川・舟	思川を川下り	①	ネットワーク	①
	ヨシ舟のミニチュア	①	周りとの連動（携）	①
	ボート、カヤック	①	思いっきり遊べる	①
	ヨシ舟作り	①	かくれんぼ	①
	舟遊び、舟乗り	①	旧思川蛇行巡りツアー	②
	旧思川で舟遊び	①	昔の風景をたどる	②
	旧思川での乗船ツアー、船頭を伴って	①	発泡スチロールの舟	③
	手こぎボート体験	①	芝→ウォータースライダー	③
虫・草・木	アンズ	①	昆虫採集	②
	木の実取り	①	柳の木、クワガタ	②
	桑の実ジャム	①	桑の木のクラフト（まゆ）	③
	虫とり	①	まゆづくり	③
	ポケモン GO を使ったゲーム	①	ラムねこストラップ	③
	イナゴとり	①	ゆるキャラ、アニメ化	③
	食育	①	くわつみうた	③
	カエルであそぶ	②	菜の花つみ	③
	クヌギの木	②	木登り教室を開く→桑の実を取る	③
その他	野鳥観察	①	歴史ツアー	④
	ヨシキリの巣探し	①	氷に乗って遊んだ	④
	自然にまみれる	③	インスタ映え	④
	ヨシ灯りフェスティバル	③	変わらないところが良い	④
	生き物調査	③	何も無いところが良い	①
	地元向けのツアー	④	広さ気持ちいい	①
	都会向けのツアー	④		

【グループC】食べる・泊まる・買う

意見・アイデア		
食べる	「渡良瀬御膳」小山市食材	④
	与良川、巴波川などの川魚を食べよう！ナマズやウナギ	①
	ラムサールナマズ料理の開発	①
	ナマズの刺身	③
	ナマズの寿司	③
	サケの遡上の状況を見せる。イクラを取るところも見れる様にする。	①
	コイのうまに（匂いがいい）	③
	イナゴの佃煮	③
	どじょう	③
	外来種を食べちゃおう	①
	ザリガニ	③
	しもつかれを食べよう！	①
	ダイヤモンド☆ユカイが、しもつかれが好き（呼んじゃおう！）	①
	地元の粉を使用したうどん	③
	ハトムギでパン、うどん	③
	イワイの大地でうどんを作る	③
	「出流そば」のようなイメージつくる	②
	なまいっ子のおにぎり	①
	米まんじゅう、米パン [生っ子冬みずたんぼ米]	②
	天ぷらまんじゅう、無ければつくる	④
	春を食べる（ヨモギ、ツクシ）	③
	コナギを食べる（雑草）	④
	イノシシの肉	③
	B B Q提供	④
舟で食事	②	
旧思川、食事出来た	②	
旧思川の桜まつり、ライトアップしながら飲食	③	

意見・アイデア		
泊まる	農業体験付き民泊	③
	民泊農家を募集	④
	泊まる場所、小学校を使ってみては？	①
	網戸小のランチルームも使えるのでは？	①
	公民館を宿泊に利用する	①
	古民家を利用して休憩所を作る（茶所）	③
	空き家を活用再生ツアー	④
	「野菜盗み（取り放題）ツアー」、ドキドキ感	④
	ヨシを使った簡単な家をつくる！	①
	ヨシ小屋つくるとまる「基地づくり」	④
	鳥の気持ちになる（ヨシ原に寝袋で）	③
	堤防の上へテントを張り泊まる	③
	遊水地内テント	②
	遊水地内天体観測	②
	冬の寒さ体験	③
「癒される」ことと呼ぶ	②	
買う	桑の実ジャム	③
	杏ジャムの利用	③
	ミニチュアのヨシ舟を作る	③
	ミニヨシ舟製作キット	①
	ヨシズを売る	③
	野菜つくる量少ない	②
	なまいっ子を売ろう！	①
	イベント開催に合わせ、定期的に農産物の直売を実施する	①
	月1でイベント軽トラ	②
	田んぼアート見学台設置、現地直売、野菜、川魚	③
	カボチャまんじゅう	③
	物でなくても買うものがあるのでは	②
	売って生計成り立つように	②
	小道具を販売する（アンティーク等）	③
	カスリーン体験を語りつく場	②
	市、行政、JAの後ろ立て	②
	ターゲットをどこにするか	②
	若い人（ヨソの人）が手伝う	②
	生井だけにこだわらなくても若い人に貸す	②
	若い人は時間余裕ない	②
人が人を呼ぶ	②	
集約しないと来ない、盛り上がらない	②	

【グループD】 交流する・PR

意見・アイデア				
有名人	モデル、有名人	④	貴乃花親方	④
	公共施設に大きなポスターを貼る。モデルは？	④	ダイヤモンド☆ユカイにPRしてもらおう！（しもつかれが好きだから）	②
	U字工事	④	「U字工事」にネタを作ってもらおう	③
	つぶやきシロー	④	「カミナリ」にネタを作ってもらおう	③
	だんみつ	④	市長とタレントの絡んだPRビデオ	④
	相撲界にPR	④		
メディア	市長にテレビ、ラジオに出てもらおう	④	テレビでの紹介、口コミ、SNS等での配信、駅前などでPR活動、チラシ配り等	①
	テレビの撮影地（映画等）	④		
	全国ネットの番組（もしツアーとか）	①		
	アウトドア雑誌に写真を掲載してもらおう	④	ジブリ社長に遊水地を題材にしたアニメ	①
映像・動画	地上絵のドローン撮影で広大な自然をPR	③	VR（見ると一周できる、ヨシ原を歩ける）	④
	小山駅の改札口の真前に大型モニターを置いて遊水地の宣伝ビデオ流す	②	イメージ動画を作り、TVで流す。全国の県人会に贈る。	④
	四季をとるライブカメラ	③	おもしろいYouTube動画を撮る	②
	写真と音楽を合わせる	④	今の子ども達はかなりYouTubeを見る	②
	遊水地のDVD制作	④	ピコ太郎越え！	②
音楽・ラジオ	音楽＋メッセージ 「カステラー一番、電話は二番」	③	FMラジオで毎日流す（音で耳に残る）	③
	C&Kに「わたらせの曲」	①	レディオベリー、FM79.5	③
	森高千里に「わたらせの歌」	①	小林克也に頼む	③
祭り・イベント	全国区になるようなでっかい祭りをやっちゃまおう！	②	自転車のイベント耐久レース（ミクロクロス）	④
	お祭り男「宮川大輔」に来てもらっちゃまおう！	②	外来種祭り、つかみ取り！（ブラックバス、ブルーギル）	②
	気球祭り	②	優勝者にはなまいっ子1,000kg	②
	バルーンフェスタ誘致	④		
SNS	SNS等の活用（Facebook、Instagram、Twitter、ブログ等）	①	SNSシェア数の多いサイト	②
			地元料理をインスタで発信	③
イメージ	すばらしいキーワードの発掘	①	わたらせいいとこ一度はおいで！	③
	一瞬でわかるイメージ	④	おやまゆーえんち	③
	寒いぞ遊水地	④	富士山なら遊水地	④

意見・アイデア				
・洪水の歴史	パワースポットを作る、(仕事、健康、恋人) 口コミ、SNSで広がる	①	資料館兼休憩所のようなものを作り、宣伝する	②
	洪水が来ないパワースポット	①	資料館を作る	①
	わたらせの石	①	展望台をつくる	①
	水塚、あげ舟をPRする	①		
子ども	子ども達が遊べる集まる場所をつくる	①	リピーターになってもらう子どもを	②
	他の子ども会への体験に来てもらう	②	捕まえる	
	子どもに紹介・PRする	②	羽田、成田で流してもらう(茨城)	④
	こちらからどんどん行って遊水地を宣伝する	②	近隣の小学生(市外)への紹介	③
			マンガを書いてもらう	③
他県の小中学校に出向いて宣伝し、遊水地郊外学習で来てもらう	②	ジャンプ、ヤンジャンにして連載	③	
		漫画「生井の人々(日常)」等	③	
愛好家	自転車界にPR、ツーリングスポットとして有名にする	①	同好会(カメラ、野鳥観察等愛好家)へのアプローチ	①
	生井の中に周回コース、ダートコース	①	低山(登山の)の魅力	③
	オフロードバイクの特集に乗っていた(既に気づいている人を使う)	②	高齢者グループ、高齢者施設へのハイキングProgの紹介	③
	気球など各スポーツ等の団体でPRしてもらう	②	スポーツクラブへの遊水地ツアーの紹介	③
	オタクをつかまえる	④		
キーマン	キーとなる人の育成(上手く宣伝してくれる人)			①
	「わたらせ大使」「ミスわたらせ」(若い人)等			①
	人づての話の拡散、一番強い			①
その他	旅行会社のHPに掲載を頼む	①	そもそも集まる人を利用する	②
	東京からもヨシ舟作りに呼ぶ	①	よもぎ餅を作って持ち帰り	③
	野木のレンガから人を呼ぶ。	④	日の出、日の入り	④
	恐怖ツアー(野渡橋)	④	朝もいい夕方もいい	②
	トキ、コウノトリのネットワークの活用(コウノトリサミットと一緒にPR)			①

■ ワークショップの様子



資－４ アンケート調査結果

平成 29 年 12 月末に自治会長及び関係団体構成員を対象に実施し、合計で 34 名の方から回答がありました。その結果概要は次のとおりです。

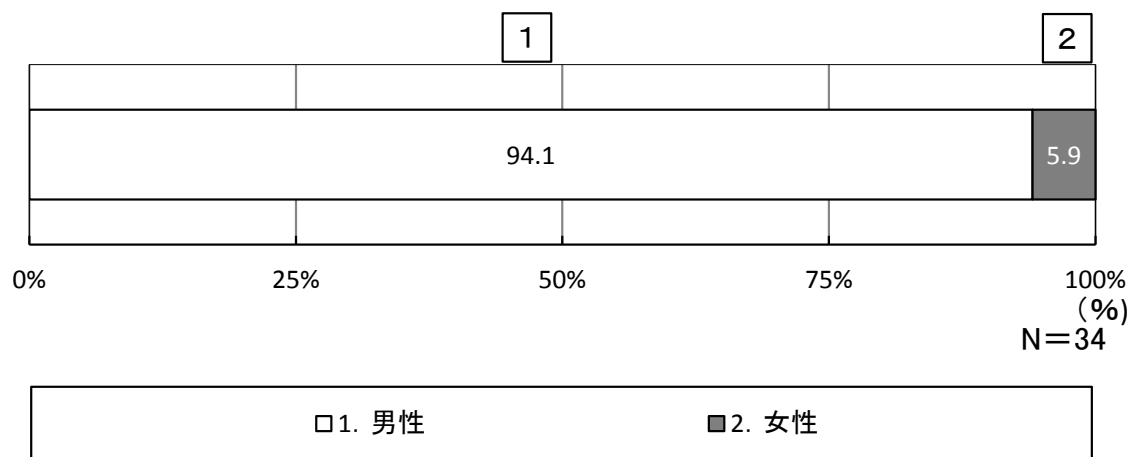
※ 1：構成比（％）は、不明（無回答）及び非該当を除く。

※ 2：小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100％に一致しない場合があります。

（１）性別 [S A]

■ 性別をお答えください。

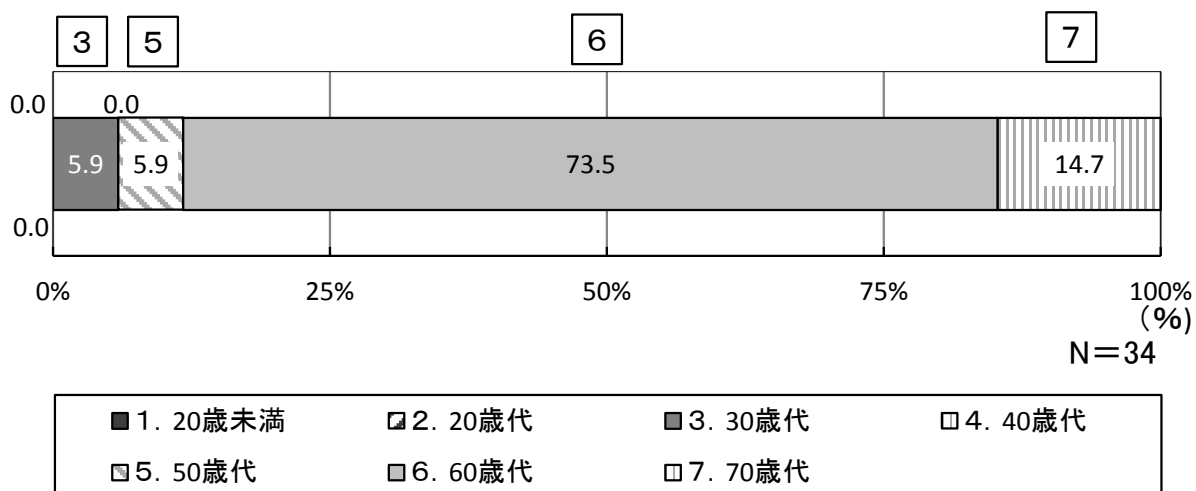
「1. 男性」が全体の 9 割以上を占めています。



（２）年齢 [S A]

■ 年齢をお答えください。

「6. 60 歳代」が全体の約 4 分の 3 を占め、最も多くなっています。

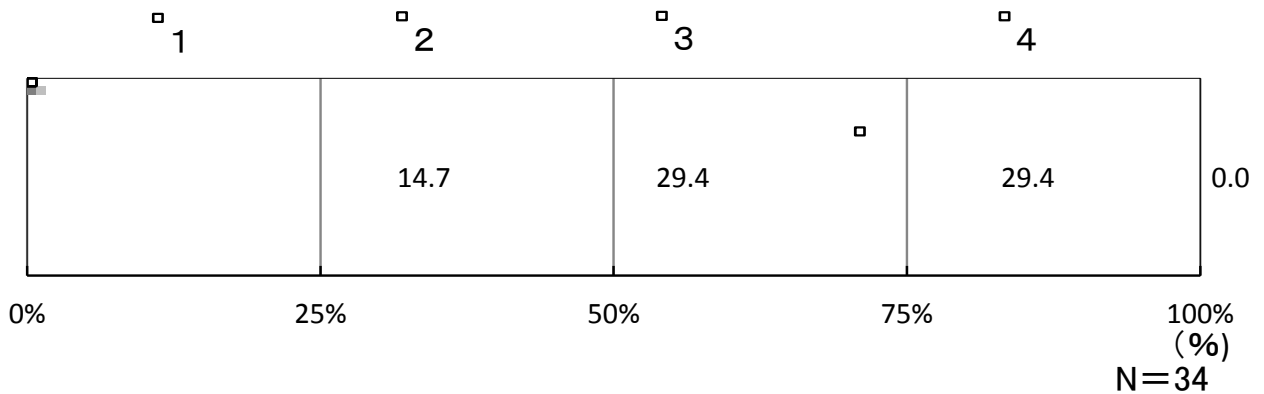


(3) 居住地域

[SA]

■ お住まいの地域をお答えください。

「3. 網戸地区」、「4. 寒川地区」がそれぞれ全体の3割を占め最も多くなっています。



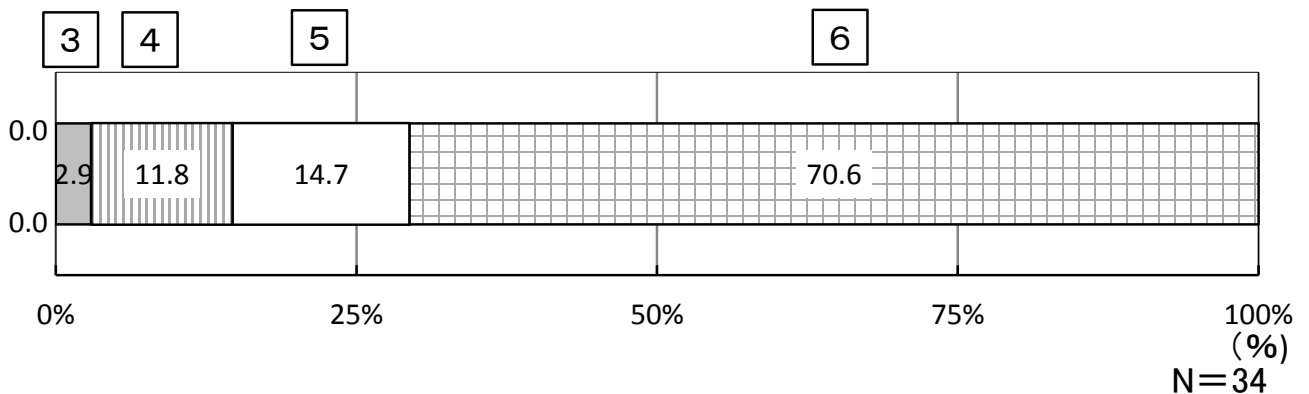
■ 1. 生井下地区 □ 2. 生井上地区 □ 3. 網戸地区 □ 4. 寒川地区 □ 5. その他

(4) 居住年数

[SA]

■ あなたは現在お住まいの場所に何年お住まいですか。

「6. 50年以上」が全体の7割を占め、最も多くなっています。

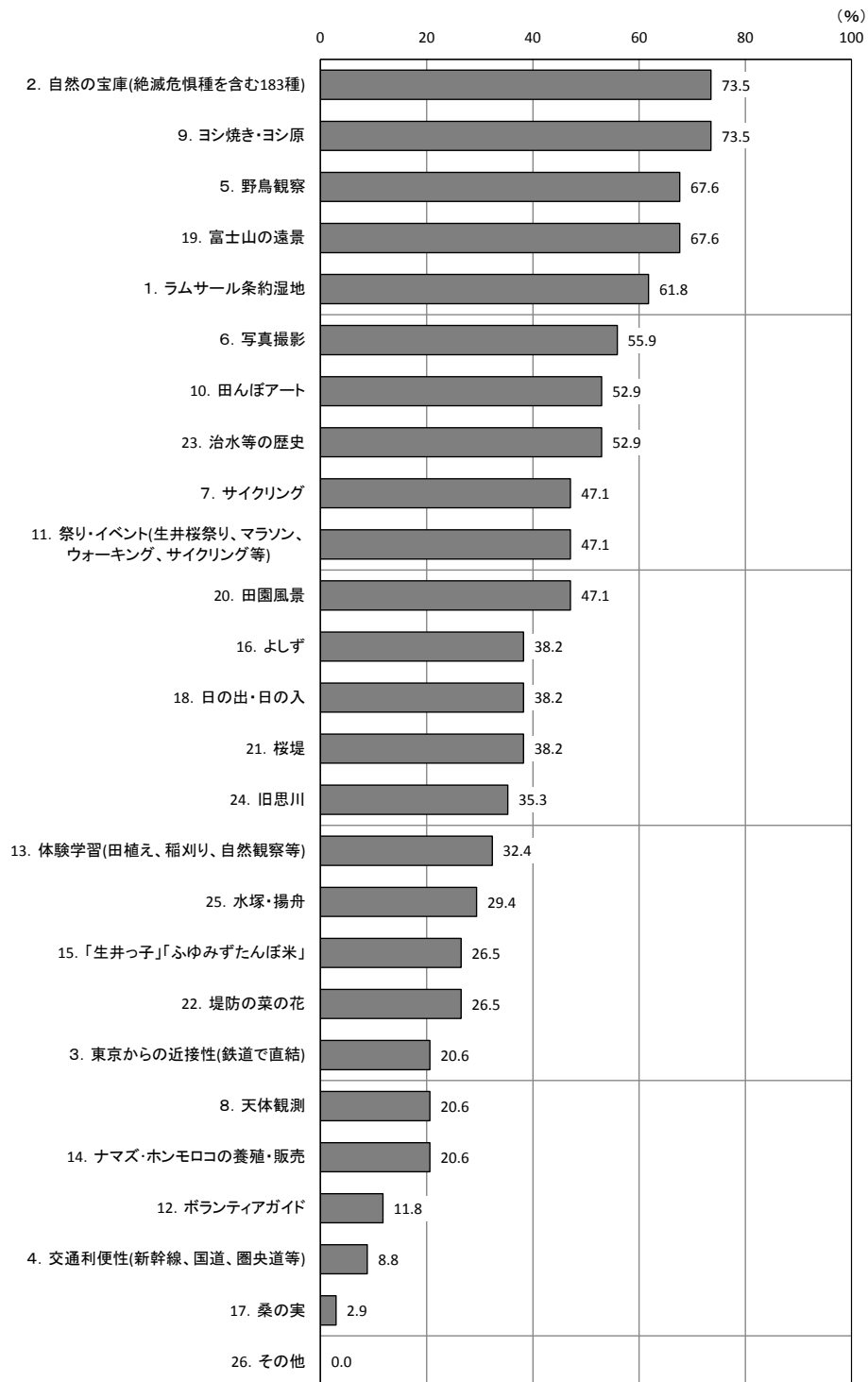


■ 1. 5年未満 □ 2. 5年以上10年未満 □ 3. 10年以上20年未満
□ 4. 20年以上30年未満 □ 5. 30年以上50年未満 □ 6. 50年以上

(5) 渡良瀬の好きなところ、よいところ [MA]

■ あなたにとって、渡良瀬遊水池周辺地域の好きなところや良いと思うところ(魅力や財産、活かしたいもの、残したいもの)は、どんなところですか。

「2. 自然の宝庫(絶滅危惧種を含む183種)」、「9. ヨシ焼き・ヨシ原」が最も多く、次いで「5. 野鳥観察」、「19. 富士山の遠景」、「1. ラムサール条約湿地」が多くなっています。



N=34

小山市渡良瀬遊水地観光地化推進5カ年計画

～エコ・アグリツーリズムの推進～

平成30年3月

[発行] 栃木県小山市
[企画・編集] 小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進課
〒323-8686
栃木県小山市中央町1-1-1
TEL 0285-22-9354 (直通)